EasyMP Multi PC Projection操作ガイド

EasyMP Multi PC Projectionについて

はじめてEasyMP Multi PC Projectionを使うときの準備

プロジェクターに接続して画面を投写する

便利な機能を活用する

困ったときに

各画面の説明

付録

EasyMP Multi PC Projectionについて

EasyMP Multi PC Projectionの特長を説明します。

関連項目

- 「EasyMP Multi PC Projectionの機能」p.5

EasyMP Multi PC Projectionを使うと、ネットワーク上のプロジェクターから映像を投写して、ミーティングをより活発にできます。 お使いの環境に合わせて、さまざまな画面投写機能を利用できます。

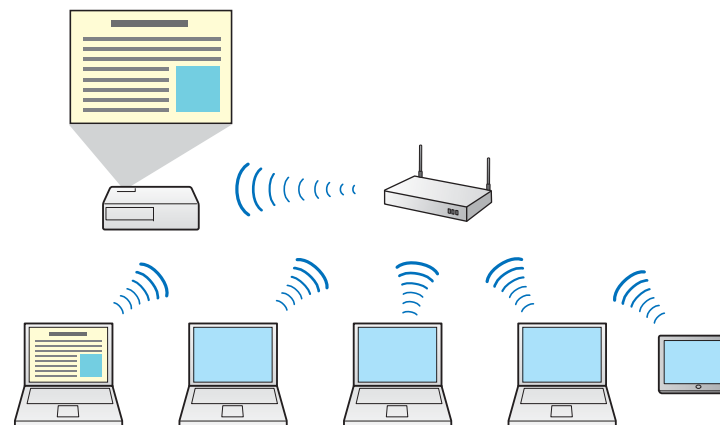
関連項目

- 「EasyMP Multi PC Projectionについて」p.4
- 「さまざまな機器との接続」p.5
- 「4画面分割投写」p.5
- 「投写する発表者や位置のスムーズな切り替え」p.6
- 「モデレーター機能」p.6

さまざまな機器との接続

EasyMP Multi PC Projectionを使って1台のコンピューターをプロジェクターに接続すると、コンピューター、スマートフォンやタブレット端末を50台まで同時に接続できます。コンピューターはEasyMP Multi PC Projectionを使用して、スマートフォンやタブレット端末はEpson iProjectionを使用して接続します。

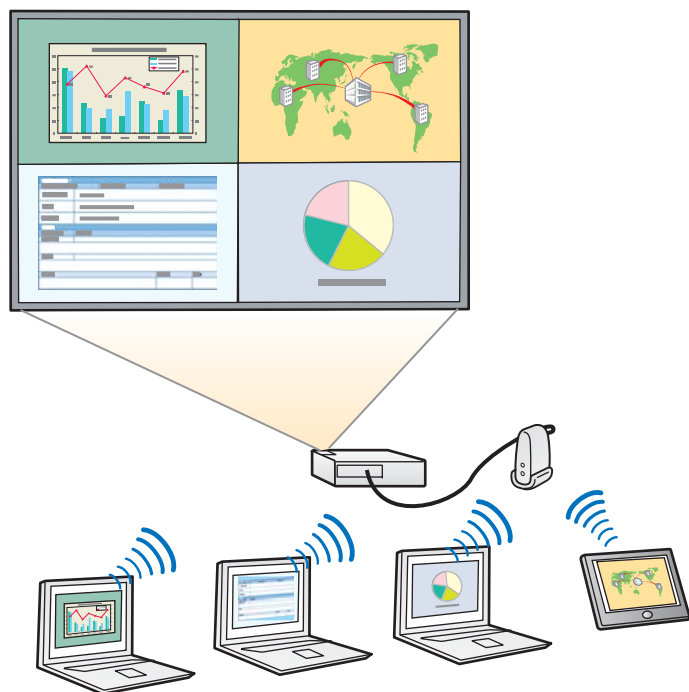
接続しているコンピューターやタブレット端末の中から4台までの画面を、EasyMP Multi PC Projectionで選んでプロジェクターから投写できます。

また、ネットワーク上の4台までのプロジェクターに同じ画面を投写して、遠隔地で同じ画面を共有しながらミーティングを開催できます。

関連項目

- 「EasyMP Multi PC Projectionの機能」p.5
- 「接続方法」p.15
- 「複数のプロジェクターと接続する（ミラーリング）」p.34

4画面分割投写

投写画面を分割することで、4台までのコンピューターやタブレット端末の画面を同時に投写して、ビジネスや授業で活用できます。

この機能により、複数の資料を並べて表示して、データを比較、分析できます。 また授業では、片方の画面で教材を投写しながら、もう一方の画面では生徒の答えや作品を投写して、生徒に内容の理解を深めてもらう使い方もできます。

関連項目

- 「EasyMP Multi PC Projectionの機能」p.5
- 「投写画面の分割数を切り替える」p.27

投写する発表者や位置のスムーズな切り替え

EasyMP Multi PC Projectionの投写操作画面を使うと、ドラッグ＆ドロップ操作だけで、投写する画面や投写する位置を簡単に切り替えることができます。

同じプロジェクターに接続していれば、ネットワーク上のプロジェクターを共用して、映像ケーブルをつなぎかえることなく、発表者をスムーズに切り替えながら、それぞれのプレゼンテーションを発表できます。

ソフトウェアのバージョンによっては、投写操作画面を使用できないことがあります。

関連項目

- 「EasyMP Multi PC Projectionの機能」p.5
- 「発表者を交代する」p.28
- 「投写位置を切り替える」p.29

モデレーター機能

モデレーター機能を使うと、ミーティングの出席者の1人がモデレーターとなり、投写画面を操作できます。 この機能は、出席者の1人がモデレーターに、他の出席者が参加者になり、モデレーターが投写画面を操作するミーティングに適しています。

他の出席者に進行を中断されることなく、モデレーターがスムーズに講義を進めることができるため、授業などでも便利です。

お使いのプロジェクターの機種によっては、この機能に対応していないことがあります。

関連項目

- 「EasyMP Multi PC Projectionの機能」p.5
- 「接続方法」p.15
- 「モデレーターを交代する」p.37

はじめてEasyMP Multi PC Projectionを使うときの準備

プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続するために必要な準備をします。

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」p.9
- 「プロジェクターを設定する」p.12

プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、EasyMP Multi PC Projectionをインストールします。

- インストール時に選択した言語が、使用しているオペレーティングシステムの言語と異なるときは、画面が正しく表示されないことがあります。
- EasyMP Multi PC Projectionの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。
- コンピューターにEasyMP Multi PC Projectionの旧バージョンがインストールされているときは、旧バージョンをアンインストールしてから最新バージョンのEasyMP Multi PC Projectionをインストールしてください。

関連項目

- 「はじめてEasyMP Multi PC Projectionを使うときの準備」p.8
- 「EasyMP Multi PC Projectionシステム動作条件」p.9
- 「EasyMP Multi PC Projection をインストールする（Windows）」p.10
- 「EasyMP Multi PC Projection をインストールする（Mac OS X）」p.10
- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」p.65

EasyMP Multi PC Projectionシステム動作条件

EasyMP Multi PC Projectionは、次の条件を満たすコンピューターで動作します。

条件	Windows	Mac
OS	Windows XP • Professional（32ビット） • Home Edition（32ビット） • Tablet PC Edition（32ビット）	Mac OS X • 10.4.x（32ビット） • 10.5.1以上（32ビット） • 10.6.x（32/64ビット） • 10.7.x（32/64ビット） • 10.8.x（64ビット）
	Windows Vista • Ultimate（32ビット） • Enterprise（32ビット） • Business（32ビット） • Home Premium（32ビット） • Home Basic（32ビット）	
	Windows 7 • Ultimate（32/64ビット） • Enterprise（32/64ビット） • Professional（32/64ビット） • Home Premium（32/64ビット） • Home Basic（32ビット） • Starter（32ビット）	
	Windows 8 • Windows 8（32/64ビット） • Windows 8 Pro（32/64ビット） • Windows 8 Enterprise（32/64ビット）	
CPU	Mobile Pentium III 1.2 GHz以上 （推奨：Pentium M 1.6 GHz以上）	Power PC G3 900 MHz以上 （推奨：CoreDuo 1.5 GHz以上）
メモリー容量	256 MB以上 （推奨：512 MB以上）	
ハードディスク空き容量	20 MB以上	

条件	Windows	Mac
ディスプレイ	1024 × 768(XGA)以上、1920 × 1200(WUXGA)以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色(約32000色の表示色)	

- Service PackがインストールされていないWindows XPとWindows XP Service Pack 1は動作保証の対象外です。
- Mac OS X 10.5.0はバージョンアップ時にファイアウォールの設定が正しく行われないため、動作保証の対象外です。

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」p.9

EasyMP Multi PC Projectionをインストールする(Windows)

EasyMP Multi PC Projectionをお使いのコンピューターにインストールします。

コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。

1. **コンピューターの電源を入れます。**
2. **起動中のアプリケーションがないことを確認します。**
3. **コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。**
   自動的にセットアッププログラムが起動します。
4. **自動的にインストールが開始されないときは、[マイコンピュータ](または[コンピュータ])からCD-ROMドライブを開き、[InstallNavi.exe]をダブルクリックします。**
5. **画面の指示に従って、インストールを進めます。**

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」p.9

EasyMP Multi PC Projectionをインストールする(Mac OS X)

EasyMP Multi PC Projectionをお使いのコンピューターにインストールします。

1. **コンピューターの電源を入れます。**
2. **起動中のアプリケーションがないことを確認します。**
3. **コンピューターにEPSON Projector Software CD-ROMをセットします。**
4. **EPSONウィンドウで[Install Navi]アイコンをダブルクリックします。**
   インストール画面が表示されます。
5. **画面の指示に従って、インストールを進めます。**

関連項目

- 「ソフトウェアをインストールする」p.9

プロジェクターのネットワーク設定をして、無線LANまたは有線LANで接続します。 無線LANでコンピューターとプロジェクターを接続するときは、マニュアルモードで接続します。 かんたんモードでは接続できません。

関連項目

- 「はじめてEasyMP Multi PC Projectionを使うときの準備」p.8
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（無線LAN）」p.12
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（有線LAN）」p.13

マニュアルモードで接続するときの設定方法(無線LAN)

無線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

1 **接続するアクセスポイントの設定(SSID、セキュリティー)を、ネットワーク管理者に確認します。**

2 **コンピューターをネットワークに接続します。**

接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

3 **必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットを装着します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。**

4 **プロジェクターの電源を入れます。**

5 **リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。[ネットワーク]から[ネットワーク設定画面へ]を選択します。**

6 **[無線LAN]メニューを選択します。**

次の画面のどちらかが表示されます。

7 **[無線LAN電源]を[オン]に設定します。**

8 **[接続モード]を[マニュアルモード]に設定します。**

9 **SSIDやIPアドレスなどネットワーク接続に必要な項目を設定します。 詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。**

10 **必要に応じて、[セキュリティー] メニューでセキュリティー設定を選択します。 セキュリティーの設定の内容は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。**

11 **設定が終了したら、[設定完了]を選択します。**

関連項目

- 「プロジェクターを設定する」p.12
- 「EasyMP Multi PC Projectionを使用してプロジェクターに接続する」p.16

マニュアルモードで接続するときの設定方法(有線LAN)

有線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

1 **お使いのネットワーク環境でDHCPを使用できるか、ネットワーク管理者に確認します。**

DHCPを使用できないときは、プロジェクターに設定する次の値を確認します。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス

2 **コンピューターをネットワークに接続します。**

接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

3 **プロジェクターにLANケーブルを接続します。**

4 **プロジェクターの電源を入れます。**

5 **リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押します。[ネットワーク]から[ネットワーク設定画面へ]を選択します。**

6 **[有線LAN]メニューを選択します。**

次の画面のどちらかが表示されます。

7 **必要に応じて、IP設定を選択します。**

- DHCPを使用できる場合:[DHCP]を[オン]に設定します。
- DHCPを使用できない場合:[DHCP]を[オフ]に設定して、プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。

8 **設定が終了したら、[設定完了]を選択します。**

関連項目

- 「プロジェクターを設定する」p.12
- 「EasyMP Multi PC Projectionを使用してプロジェクターに接続する」p.16

プロジェクターに接続して画面を投写する

コンピューターとプロジェクターをネットワーク経由で接続して、コンピューターの画面をプロジェクターで投写します。

事前に、EasyMP Multi PC Projectionをはじめて使うときの準備を済ませておいてください。

関連項目

- 「接続方法」p.15
- 「プロジェクターを検索する」p.19
- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「プロジェクターとの接続を終了する」p.30
- 「ソフトウェアをインストールする」p.9
- 「プロジェクターを設定する」p.12

開催するミーティングのスタイルに合わせて、コンピューターとプロジェクターの接続方法を選択します。

関連項目

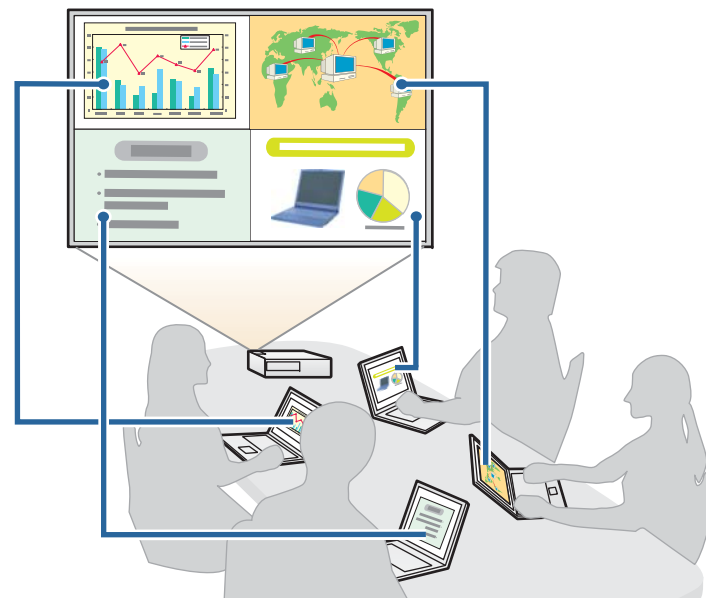
- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」p.14
- 「ミーティングのスタイルに適した接続方法」p.15
- 「EasyMP Multi PC Projectionを使用してプロジェクターに接続する」p.16

ミーティングのスタイルに適した接続方法

開催するミーティングのスタイルに合わせて、接続方法を選択します。

ミーティングの進め方を考えます。 選択した接続方法によって、接続するための操作が異なります。

お使いのプロジェクターの機種によっては、使用できない接続方法があります。 詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

- 出席者全員が投写画面を操作して、各自が自由に画面を投写できるスタイル（ビジネスシーンなどで出席者と話し合い、議論を交わす）

- モデレーター機能を使い、1人の出席者がモデレーターとなり、ミーティングを進行するスタイル(授業や講義などで、モデレーターが投写する画面を操作する)

モデレーター機能を使用してミーティングを開始するには、1人の出席者がモデレーターとしてプロジェクターに接続し、他の出席者が参加者としてプロジェクターに接続する必要があります。

関連項目

- 「接続方法」p.15
- 「モデレーターを交代する」p.37
- 「EasyMP Multi PC Projectionを使用してプロジェクターに接続する」p.16

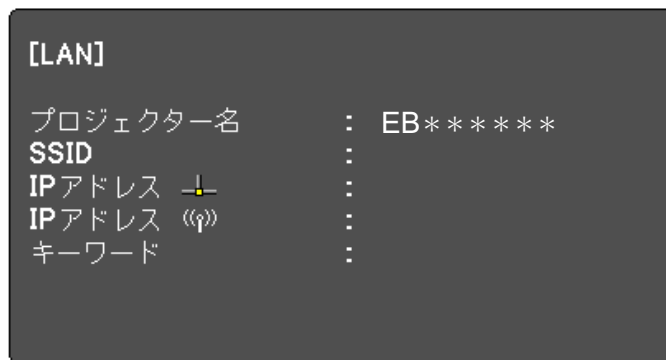
EasyMP Multi PC Projectionを使用してプロジェクターに接続する

EasyMP Multi PC Projectionを使用して、お使いのネットワーク環境でコンピューターとプロジェクターを接続して画面を投写します。接続する前に次の準備をしてください。

- プロジェクターに無線LANユニットを装着する(無線LAN環境の場合)
- プロジェクターにLANケーブルを接続する(有線LAN環境の場合)
- プロジェクターの接続モードを[マニュアルモード]に設定する

コンピューターがネットワークに接続していることを確認してください。

1 **リモコンの【LAN】ボタンまたは【入力検出】ボタンを押して、入力信号をLANに切り替えます。**

LAN待機画面が表示されます。

2 **コンピューターでEasyMP Multi PC Projectionを起動します。**

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7の場合：[スタート] - [プログラム]（または[すべてのプログラム]） - [EPSON Projector] - [EasyMP Multi PC Projection] - [EasyMP Multi PC Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Windows 8の場合：[チャームバー]を表示して、検索 - [EasyMP Multi PC Projection Ver.X.XX]の順に選択します。
- Mac OS Xの場合：[アプリケーション]フォルダーから[EasyMP Multi PC Projection Ver.X.XX]をダブルクリックします。

検索画面が表示されます。

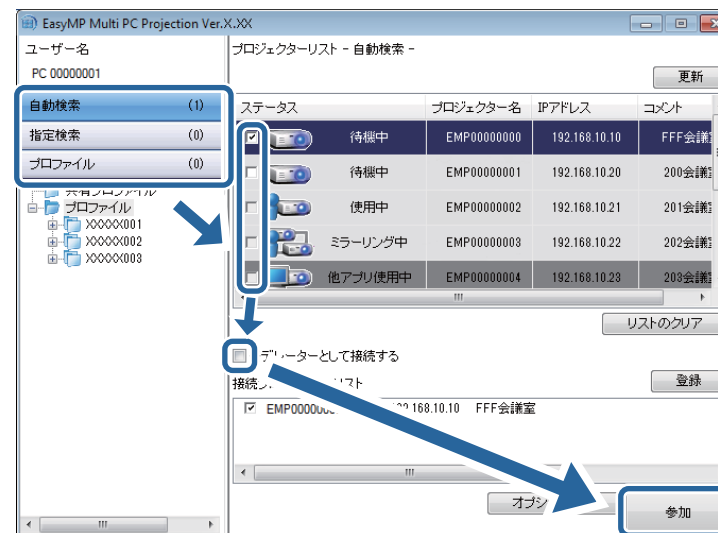
ショートカットを作成し、ショートカットからEasyMP Multi PC Projectionを起動して、あらかじめ保存したプロジェクターを自動で検索することもできます。

3 次のいずれかの方法でプロジェクターを検索します。

- [自動検索]：自動で検索します。
- [指定検索]：プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定して検索します。
- [プロファイル]：プロファイルとして保存してあるプロジェクターを検索します。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

4 [プロジェクターリスト]から接続するプロジェクターを選択して、次のいずれかの操作を行います。

- 出席者全員が発表者になる、またはモデレーター機能の参加者になる場合：[モデレーターとして接続する]が選択されていないことを確認して、[参加]をクリックします。
- モデレーター機能のモデレーターになる場合：[モデレーターとして接続する]を選択して、[参加]をクリックします。

- お使いのプロジェクターの機種によっては、モデレーター機能に対応していないことがあります。また、ソフトウェアのバージョンによっては、モデレーター機能は使用できないことがあります。
- 1人のユーザーがモデレーターとして接続すると、モデレーター機能が有効になります。

プロジェクター側で[プロジェクターキーワード]を[オン]にしているときは、キーワードを入力する画面が表示されます。

5 必要に応じて、LAN待機画面に表示されているキーワードを入力し、[OK]をクリックします。

接続が完了すると、コンピューターの画面にEasyMP Multi PC Projectionのツールバーが表示されます。

最初に接続したユーザーのコンピューターの画面が全画面表示で投写されます。 後から接続したユーザーは、ツールバーの をクリックすると、自分の画面を投写できます。また、ツールバーの をクリックして投写操作画面を表示してから、投写画面を操作することもできます。

- ネットワーク接続以外の入力信号がないときは、コンピューターと接続すると、入力ソースが自動でLANソースに切り替わります。自動でLANソースに切り替わらないときは、リモコンの【LAN】ボタンまたは【入力検出】ボタンを押してください。
- 表示されるツールバーは、接続方法またはソフトウェアのバージョンによって異なります。
- モデレーター機能を使うと、モデレーターだけが投写画面を操作できます。

関連項目

- 「接続方法」p.15
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（無線LAN）」p.12
- 「マニュアルモードで接続するときの設定方法（有線LAN）」p.13
- 「プロジェクターを検索する」p.19
- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「プロジェクターとの接続を終了する」p.30
- 「ショートカットを使って検索する」p.33

接続するプロジェクターのネットワーク環境、または設置場所に応じてプロジェクターを検索します。

関連項目

- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」p.14
- 「検索方法」p.19
- 「自動で検索する」p.19
- 「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」p.20
- 「プロファイルを使って検索する」p.21

検索方法

次のいずれかの方法で、接続するプロジェクターを検索できます。 お使いのネットワーク環境に適した方法を選んでください。

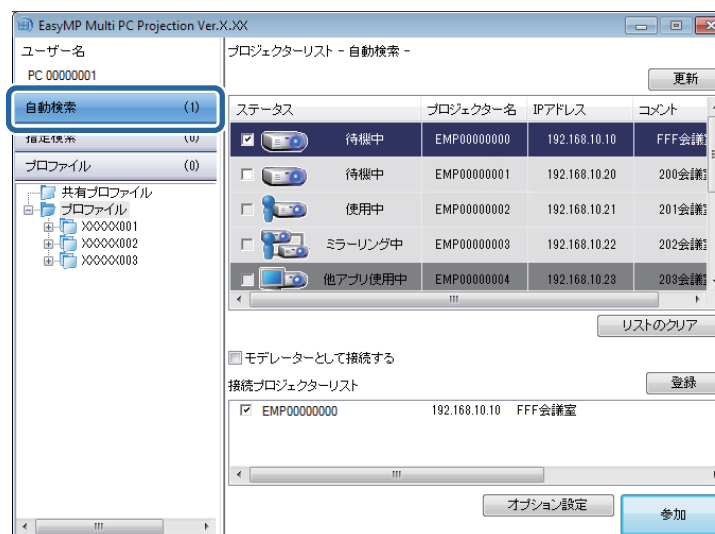
- 自動で検索する
  コンピューターが接続しているネットワーク環境の中で、接続可能なプロジェクターを自動で検索できます。
  同一のサブネット内のプロジェクターを検索できます。サブネットの異なる場所にあるプロジェクターは検索されません。
- IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する
  接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、IPアドレスまたはプロジェクター名を指定してプロジェクターを検索できます。
  また、サブネットの異なる離れた場所にあるプロジェクターを検索することもできます。
- プロファイルを使って検索する
  プロジェクター情報をプロファイルとして保存できます。検索時にプロファイルを指定すると、プロジェクターの詳細情報を入力しなくても、プロジェクターを検索できます。 プロジェクターを設置している場所ごとにプロファイルのグループを作ってフォルダーで管理すると、目的のプロジェクターを素早く見つけることができます。

関連項目

- 「プロジェクターを検索する」p.19

自動で検索する

ネットワーク上の接続可能なプロジェクターを自動で検索します。プロジェクターを選択するだけで、映像を投写できます。

プロジェクター検索画面で[自動検索]をクリックします。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

[更新]をクリックすると、最新の状態が表示されます。

接続するプロジェクターが検索されないときは、他の検索方法を試してください。

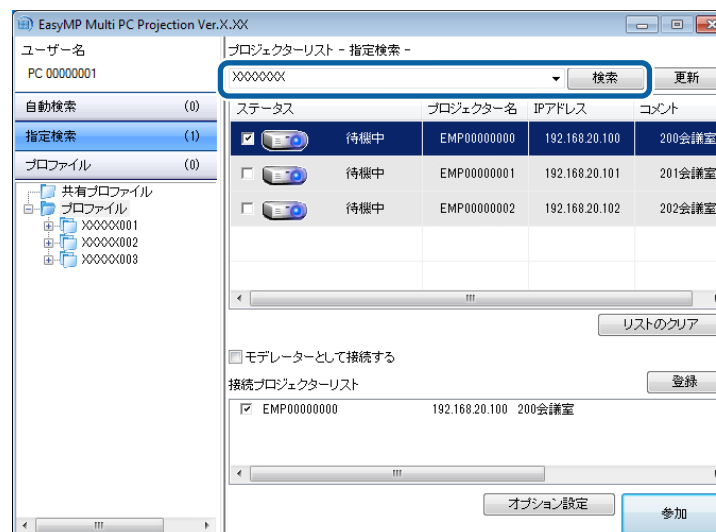
関連項目

- 「プロジェクターを検索する」p.19
- 「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」p.20
- 「プロファイルを使って検索する」p.21
- 「検索方法」p.19

IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する

接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、IPアドレスまたはプロジェクター名を指定してプロジェクターを検索できます。

1 **[指定検索]をクリックします。**

2 **接続するプロジェクターのIPアドレスまたはプロジェクター名を入力して、[検索]をクリックします。**

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

関連項目

•「プロジェクターを検索する」p.19

プロファイルを使って検索する

プロジェクター情報をプロファイルとして保存します。検索時にプロファイルを使用すると、プロジェクターの詳細を指定しなくても、プロジェクターを検索できます。

関連項目

•「プロジェクターを検索する」p.19
•「プロファイルとは」p.21
•「プロファイルを指定して検索する」p.21
•「プロファイルを登録する」p.22
•「プロファイルをエクスポートする」p.23
•「プロファイルをインポートする」p.23
•「ネットワーク経由でプロファイルを共有する」p.24

プロファイルとは

よく使うプロジェクターは、プロファイルとして保存することができます。 プロファイルとはプロジェクター名やIPアドレスなどのプロジェクター情報をひとまとめにしたファイルです。 検索時にプロファイルを指定すると、IPアドレスやプロジェクター名を指定しなくてもプロジェクターを検索できます。

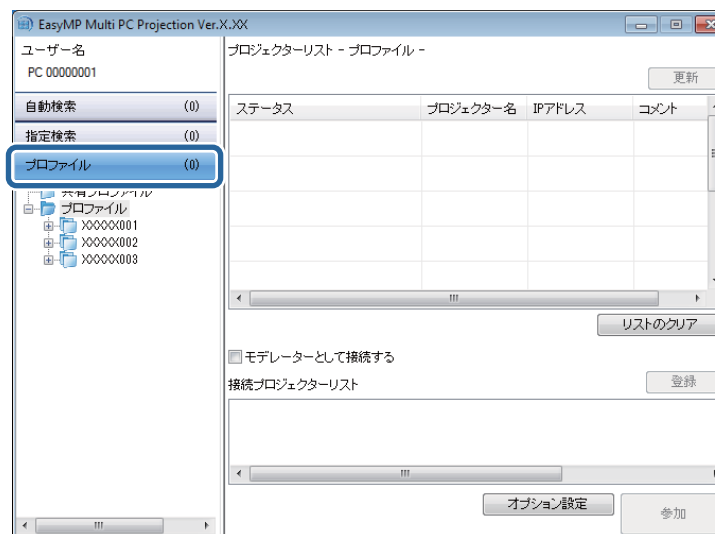
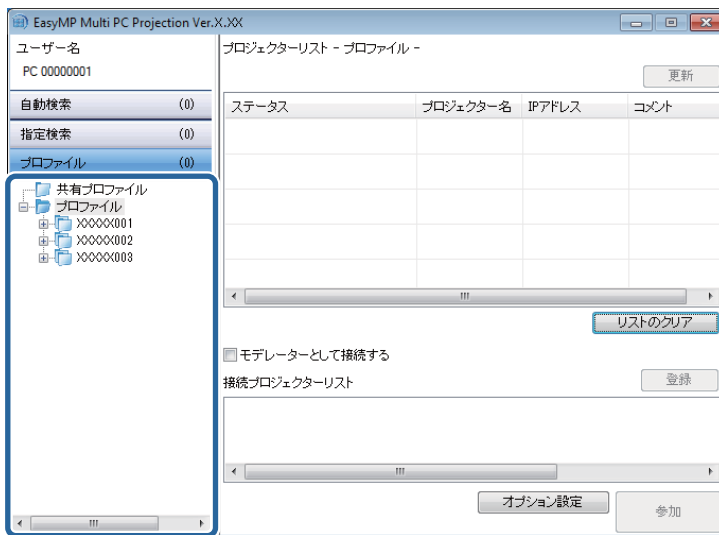
登録したプロファイルは、エクスポートしてバックアップとして保存したり、他のコンピューターにインポートして簡単にプロジェクターを検索したりできます。また、エクスポートしたプロファイルをネットワーク経由で共有すると、他の出席者が簡単にプロジェクターを検索できます。

関連項目

•「プロファイルを使って検索する」p.21

プロファイルを指定して検索する

プロファイルを指定して、プロジェクターを検索します。

1 検索画面で[プロファイル]をクリックします。

2 リストの中から、使用するプロファイルのフォルダーまたはプロジェクターアイコンをダブルクリックします。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。

関連項目

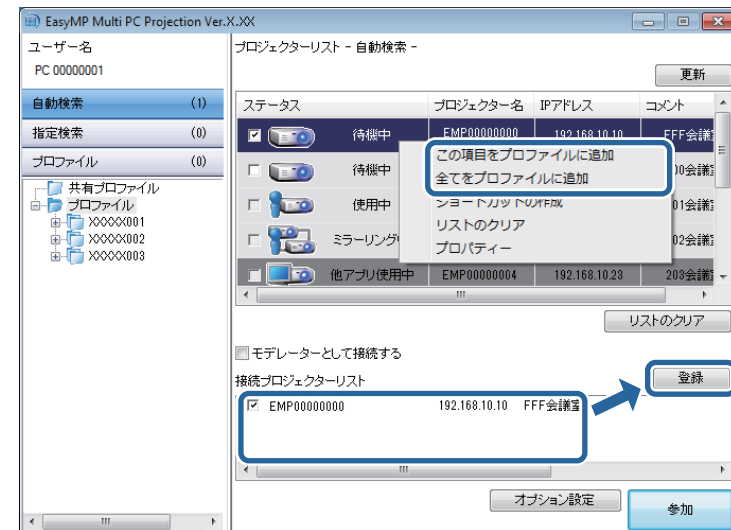
- 「プロファイルを使って検索する」p.21
- 「プロファイルを登録する」p.22

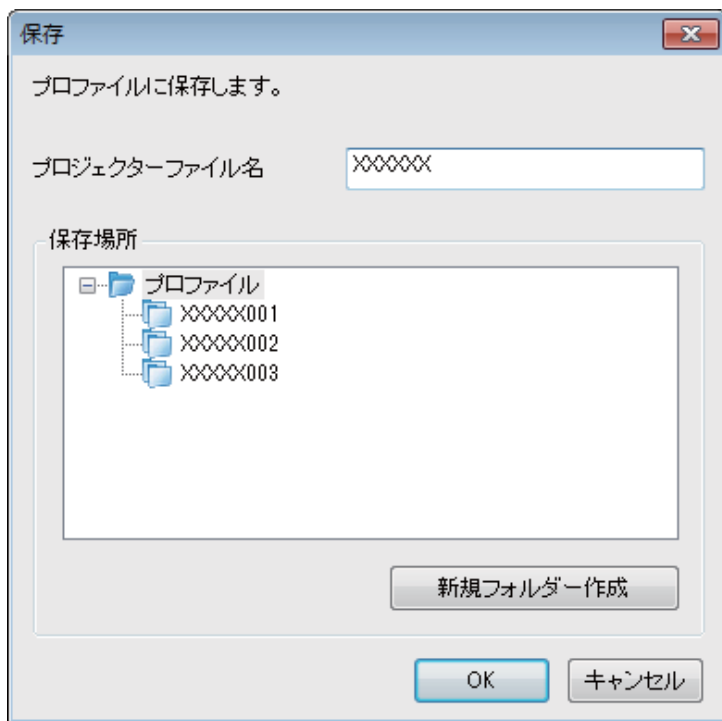
プロファイルを登録する

プロジェクターを検索した結果を、プロファイルとして保存します。分かりやすい名前で保存しておくと、次回からはそのプロファイルを使ってプロジェクターを簡単に検索できます。

プロジェクター検索画面の[共有プロファイル]フォルダーには、プロファイルを登録できません。

1 **プロジェクターが検索画面に表示されたら、次のいずれかの操作を行います。**

- [接続プロジェクターリスト]に表示されているプロジェクターを登録する：[登録]をクリックします。
- 特定のプロジェクターを登録する：[プロジェクターリスト]で登録するプロジェクターを右クリックして、[この項目をプロファイルに追加]をクリックします。
- 検索したすべてのプロジェクターを登録する：[プロジェクターリスト]内のプロジェクターを右クリックして、[全てをプロファイルに追加]をクリックします。

保存画面が表示されます。

2 **[プロジェクターファイル名]を入力し、プロファイルを保存するフォルダーを選択して、[OK]をクリックします。 新たにフォルダーを作成するときは、[新規フォルダー作成]をクリックします。**

プロファイルが登録され、プロジェクター情報がプロファイルに保存されます。

- フォルダーは6階層まで作成できます。
- [プロジェクターリスト]から特定のプロジェクターを[プロファイル]フォルダー内のフォルダーにドラッグ＆ドロップして、プロファイルとして登録することもできます。
- プロファイルまたはフォルダーをドラッグ＆ドロップして、フォルダー構成を変更できます。

関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」p.21

プロファイルをエクスポートする

プロファイルをエクスポートして、他のユーザーに配布できます。他のユーザーがプロジェクターを簡単に検索して、ミーティングに参加することができます。

プロジェクター検索画面の[共有プロファイル]フォルダーに含まれるプロファイルは、エクスポートできません。

1 **プロジェクター検索画面の[プロファイル]フォルダーから、共有するプロファイルを含むフォルダーを右クリックして、[エクスポート]をクリックします。**

名前をつけて保存画面が表示されます。

2 **プロファイル(.mplist)を保存する場所を選択して、[保存]をクリックします。**

プロファイルがエクスポートされます。

関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」p.21
- 「プロファイルを登録する」p.22
- 「プロファイルをインポートする」p.23
- 「ネットワーク経由でプロファイルを共有する」p.24

プロファイルをインポートする

エクスポートしたプロファイルをお使いのコンピューターにインポートできます。プロジェクターを簡単に検索して、ミーティングに参加することができます。

- EasyMP Network Projectionでエクスポートしたプロファイル(.plist)をインポートすることもできます。ただし、かんたんモードで接続したプロジェクターが含まれるプロファイルはインポートできません。
- プロジェクター検索画面の[共有プロファイル]フォルダーには、プロファイルをインポートできません。

1 **プロジェクター検索画面の[プロファイル]フォルダーから、プロファイルをインポートするフォルダーを右クリックして、[インポート]をクリックします。**

ファイルを開く画面が表示されます。

2 **プロファイル(.mplist)を選択して、[開く]をクリックします。**

プロファイルがお使いのコンピューターにインポートされます。

関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」p.21
- 「プロファイルをエクスポートする」p.23

ネットワーク経由でプロファイルを共有する

エクスポートしたプロファイルをネットワーク経由で他のユーザーと共有できます。プロジェクター情報が更新されたとき、プロファイルを共有しているユーザーの環境では自動で情報が更新されます。 EasyMP Multi PC Projectionを起動すると、共有プロファイルが自動で読み込まれて更新されます。

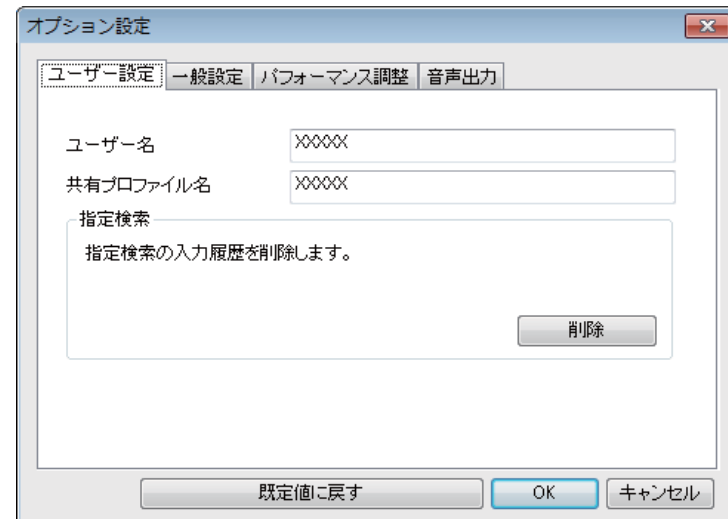
1 **サーバーなどのネットワークフォルダー上にプロファイルを(.mplist)をおきます。**

2 **プロジェクター検索画面で[オプション設定]をクリックします。**

オプション設定画面が表示されます。

3 **[ユーザー設定]タブをクリックします。**

4 **[共有プロファイル名]に共有プロファイル名を含めたネットワーク上の場所またはURLを入力します。**

- ファイルサーバーの場合(Windowsのみ): \\xxxxx\xxxxx.mplist
- Webサーバーの場合: http://xxxxx/xxxxx.mplist

5 **[OK]をクリックします。**

共有プロファイルが読み込まれ、オプション設定画面が閉じます。

共有プロファイルは読み取り専用で、EasyMP Multi PC Projectionでは編集できません。

関連項目

- 「プロファイルを使って検索する」p.21
- 「プロファイルをエクスポートする」p.23

ツールバーまたは投写操作画面を使って、投写する映像を操作します。

関連項目

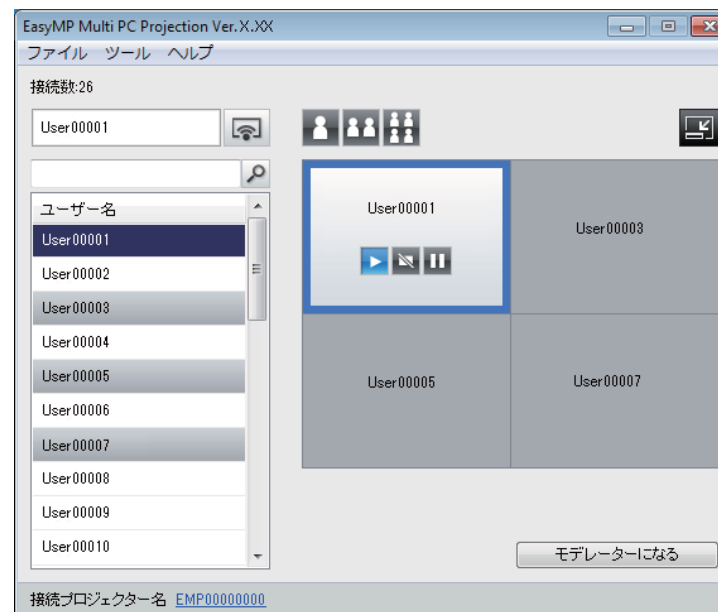
- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」p.14
- 「操作する画面の種類」p.26
- 「投写映像を操作する」p.26
- 「投写画面の分割数を切り替える」p.27
- 「発表者を交代する」p.28
- 「投写位置を切り替える」p.29

操作する画面の種類

目的に合わせて、投写映像を操作する画面の種類を選択できます。 画面の種類は、ツールバーの をクリックするか、投写操作画面の をクリックすると切り替えられます。

- 表示されるツールバーおよび投写操作画面は、接続方法またはソフトウェアのバージョンによって異なります。
- ソフトウェアのバージョンによっては、投写操作画面を使用できないことがあります。

- ツールバーを使うと、投写画面でコンピューターの映像を広く表示したり、投写中の映像を一時的に停止、再生したりできます。

- 投写操作画面を使うと、投写する画面の分割数切り替え、発表者の交代、投写位置の切り替えなどができます。

関連項目

- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「ツールバー」p.61
- 「投写操作画面」p.62

投写映像を操作する

自分のコンピューター画面を投写している間、投写状態を操作できます。

ツールバーまたは投写操作画面で次のいずれかの操作を行います。

- [表示]： をクリックします。

  コンピューターの画面をそのまま投写します。

- [停止]： をクリックします。

  投写中の映像が停止します。 停止中は、黒い画面が投写されます。

- [一時停止]： をクリックします。

  投写中の映像の動きが一時的に停止します。 コンピューターの画面を操作しても、一時停止したままの映像が投写されます。

- モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこれらのボタンを使用できません。
- モデレーター機能のモデレーターは、投写操作画面で他のユーザーの投写映像も操作できます。

関連項目

- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「投写操作画面」p.62

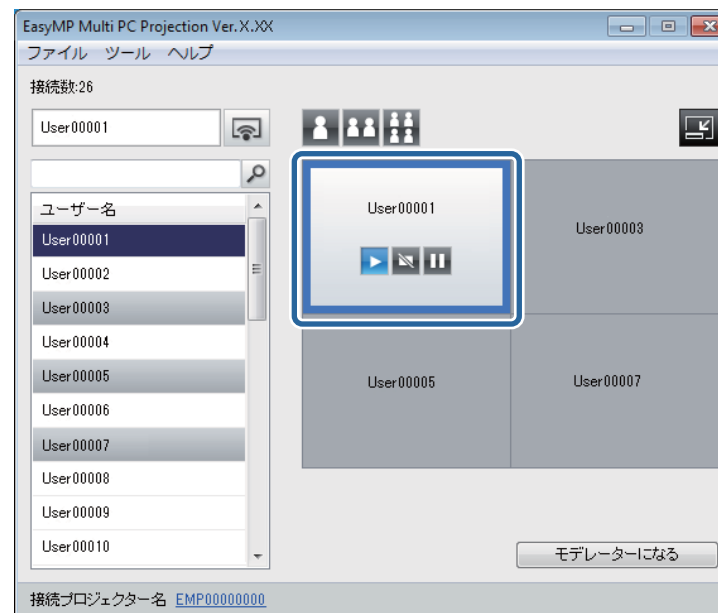
投写画面の分割数を切り替える

プロジェクターから投写する映像を最大4つに分割できます。 分割する数を切り替えて、複数のコンピューターやタブレット端末の画面を同時に投写したり、1つの画面を全画面表示で投写したりすることができます。

- モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使用できません。
- をクリックすると、自分のコンピューターの画面を全画面表示で投写します。

1 ツールバーの をクリックします。

投写操作画面が表示されます。

2 投写エリア内で、投写するユーザーのパネルをクリックします。

選択したパネルが青色の枠で囲まれます。

3 投写可能なパネルの数を切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。

- 1つのパネルを全画面表示で投写する： をクリックします。
- 投写画面を2つに分割して、選択した画面とその左または右隣のパネルを投写する： をクリックします。
- 投写画面を4つに分割して、4つのパネルすべてを投写する： をクリックします。

パネルの数が切り替わり、投写中のパネルの背景色が白色になります。

- 投写エリア内で右クリックして、パネルの数を切り替えられます。パネルを右クリックして、パネルの合計数を選択してください。
- 白色のパネルにユーザーがいないときは、黒い画面が投写されます。
- 投写されていないパネルの背景色は灰色で表示されます。

関連項目

- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「投写操作画面」p.62

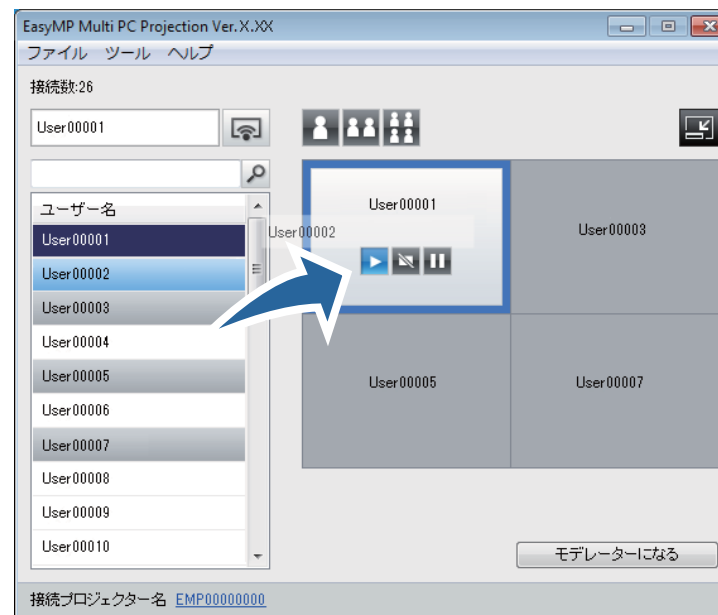
発表者を交代する

ユーザーリストからユーザー名を選択して、投写エリア内のパネルにドラッグ＆ドロップすると、発表者を交代できます。

モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使用できません。

1 ツールバーの をクリックします。

投写操作画面が表示されます。

2 ユーザーリストに表示されているユーザー名を選択して、投写エリア内の白色のパネルにドラッグ＆ドロップします。

- 投写するユーザーがユーザーリストに見つからないときは、ユーザー検索ボックスから検索できます。
- ユーザーリスト内でユーザー名を右クリックして、投写位置を指定して投写することもできます。
- 白色のパネルにユーザーがいないときは、黒い画面が投写されます。

選択したユーザーのコンピューター画面が投写されます。

3 **投写を終了するときは、投写エリア内のユーザー名を選択して、ユーザーリストにドラッグ＆ドロップします。**

投写エリア内でパネルを右クリックし、[投写終了]をクリックして、選択したユーザーの投写を終了することもできます。

ユーザーリスト内で、投写中のユーザー名の背景色は、青色で表示されます。 投写エリア内のパネルにドラッグ＆ドロップされていて、投写されていないユーザー名の背景色は、灰色で表示されます。

関連項目

- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「投写位置を切り替える」p.29

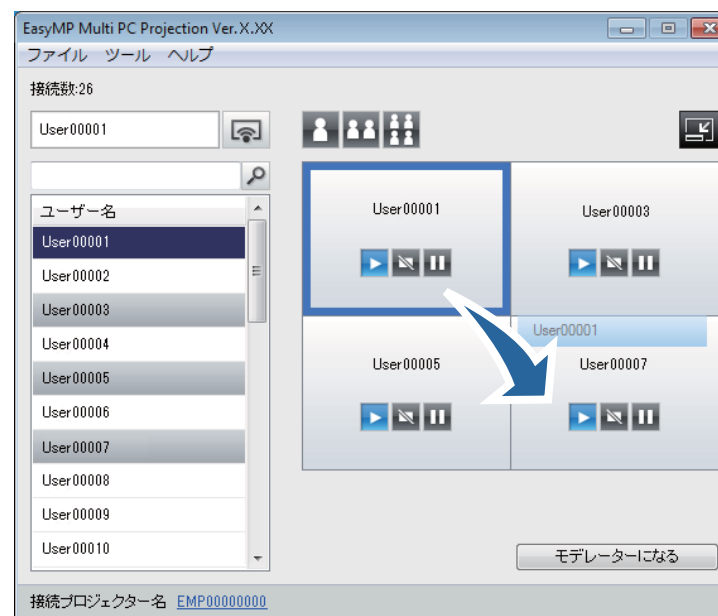
投写位置を切り替える

投写エリア内で、ユーザー名を別の位置へドラッグ＆ドロップすると、投写位置を切り替えられます。

モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使用できません。

1 **ツールバーの をクリックします。**

投写操作画面が表示されます。

2 **投写エリア内でユーザー名を選択して、別の位置へドラッグ＆ドロップします。**

投写位置が切り替わります。

または を選択しているとき、 投写されていないユーザー名(灰色のパネル)を白色のパネルにドラッグ＆ドロップして、投写する画面を切り替えることもできます。 白色のパネルから灰色のパネルへユーザー名をドラッグ＆ドロップすると、画面が投写されなくなります。

関連項目

- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「投写画面の分割数を切り替える」p.27

投写を終了するとき、1台またはすべてのコンピューターやタブレット端末をプロジェクターから切断できます。

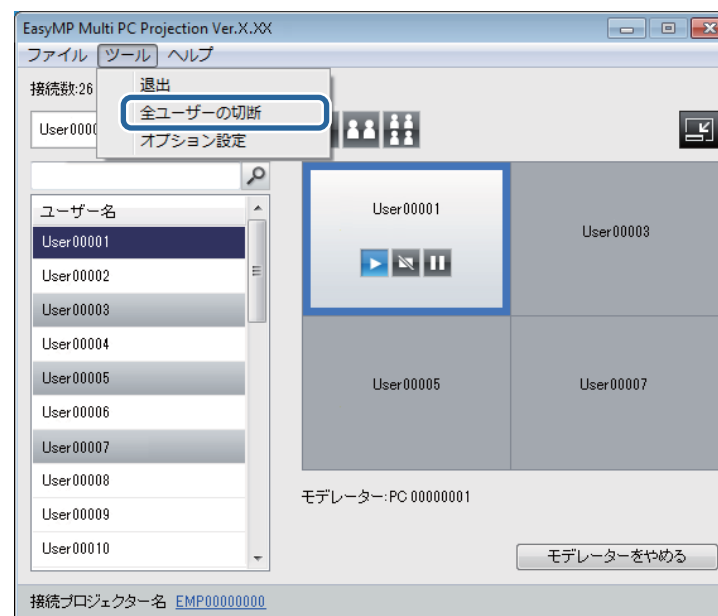
1 次のいずれかの操作を行います。

- コンピューターとプロジェクターを切断する：ツールバーの[退出]をクリックします。

  お使いのコンピューターとプロジェクターとの接続が終了します。

- モデレーターになっているときは、このボタンの代わりに[全ユーザーの切断]がツールバーに表示されます。
- 投写操作画面の[ツール]メニューから[退出]をクリックしても、切断できます。
- モデレーター機能を使用しているとき、モデレーターは他の参加者を切断できます。投写操作画面のユーザーリストでユーザーを選択して右クリックしてから、[退出]をクリックしてください。
- モデレーターがミーティングから退出すると、モデレーター機能は無効になります。

- すべてのコンピューターやタブレット端末とプロジェクターを切断する：ツールバーの をクリックして、投写操作画面の[ツール]メニューから[全ユーザーの切断]をクリックします。

  ミーティングに参加しているすべてのコンピューターやタブレット端末とプロジェクターとの接続が終了します。

モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使用できません。

確認画面が表示されます。

2 [OK]をクリックします。

プロジェクター検索画面に戻ります。

関連項目

- 「プロジェクターに接続して画面を投写する」p.14

便利な機能を活用する

EasyMP Multi PC Projectionの便利な機能を活用して、効果的なミーティングを実現します。

関連項目

- 「ショートカットを使って検索する」p.33
- 「複数のプロジェクターと接続する（ミラーリング）」p.34
- 「プロジェクターから音声を出力する」p.35
- 「自分の画面を投写する」p.36
- 「モデレーターを交代する」p.37
- 「投写操作画面を隠す」p.39
- 「接続方法」p.15
- 「プロジェクターを検索する」p.19

ネットワークプロジェクターの情報をショートカットとして保存できます。ショートカットをダブルクリックすると、EasyMP Multi PC Projectionが起動します。 プロジェクターの詳細を指定しなくても、起動と同時に保存したプロジェクターを自動で検索できます。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」p.32
- 「ショートカットを作成する」p.33

ショートカットを作成する

プロジェクターを検索した結果をショートカットとして保存して、次に同じプロジェクターに接続するときに使用できます。 ショートカットとは、プロジェクター名やIPアドレスなどのプロジェクター情報をひとまとめにしたファイルです。 フォルダーのショートカットを作成すると、フォルダーに含まれている複数のプロジェクター情報を保存します。

1 **プロジェクター検索画面で、[プロファイル]または[プロジェクターリスト]からプロジェクターまたはフォルダーを選択して右クリックしてから、[ショートカットの作成]をクリックします。**

名前をつけて保存画面が表示されます。

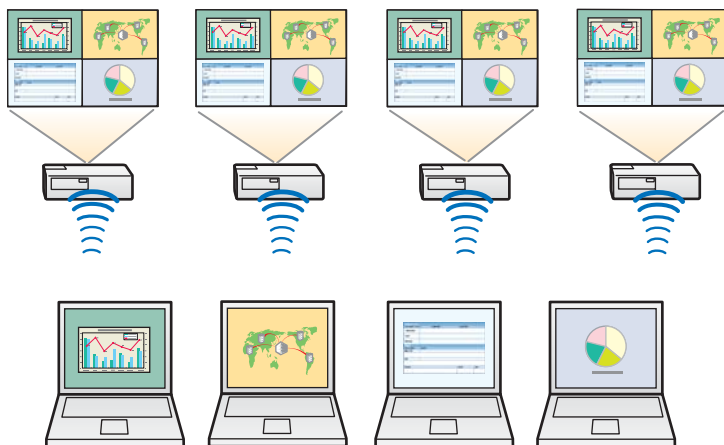
2 **ショートカット(.pme)を保存する場所を選択して、[保存]をクリックします。**

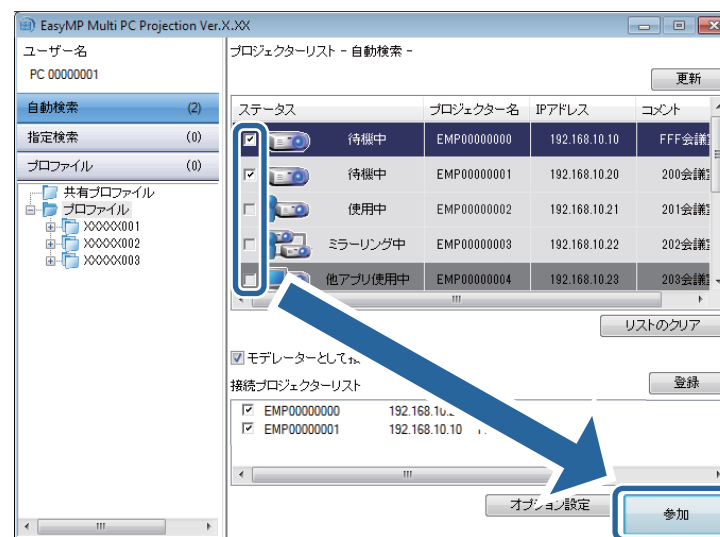
ショートカットが作成され、プロジェクター情報がショートカットに保存されます。

- ショートカットファイル(.pme)をダブルクリックすると、 EasyMP Multi PC Projectionが起動します。 保存したプロジェクターが自動で検索され、検索結果が表示されます。
- [プロファイル]または[プロジェクターリスト]から、プロジェクターまたはフォルダーを選択して、ショートカットを作成する場所にドラッグ＆ドロップすることもできます。

関連項目

- 「ショートカットを使って検索する」p.33

複数のプロジェクターと接続して、同じ映像を投写することをミラーリングと呼びます。 最大で4台のプロジェクターとミラーリングできます。

EasyMP Multi PC Projectionに対応していないプロジェクターとはミラーリングできません。

プロジェクター検索画面で、接続するプロジェクターを4台まで選択して、［参加］をクリックします。

プロジェクターのミラーリンググループが形成され、選択したプロジェクターから同じ映像が投写されます。

- プロジェクターのミラーリンググループが形成されているとき、グループのいずれか1台のプロジェクターを選択すると、グループを形成しているプロジェクターがすべて選択されます。
- すでに他の出席者がプロジェクターに接続しているとき、先に接続した出席者と同じ組み合わせのプロジェクターのみ選択できます。 組み合わせにないプロジェクターとは接続できません。

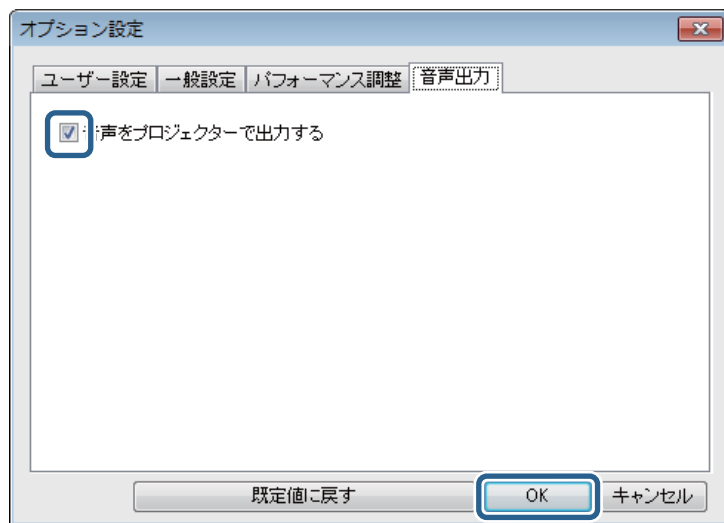
関連項目

- 「便利な機能を活用する」p.32

プロジェクターからコンピューターの音声を出力できます。 コンピューターとプロジェクターを1対1で接続して、画面を全画面表示で投写しているときのみ、音声を出力できます。

1 **プロジェクター検索画面で[オプション設定]をクリックします。**
オプション設定画面が表示されます。

2 **[音声出力]タブををクリックします。**

3 **[音声をプロジェクターで出力する]を選択して、[OK]をクリックします。**

オプション設定画面が閉じます。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」p.32
- 「自分の画面を投写する」p.36

他の出席者の画面を投写せず、自分のコンピューターの画面を全画面表示で投写します。

プロジェクター検索画面で、接続するプロジェクターを選択して、[参加]をクリックします。

ツールバーが表示されます。

2 **をクリックします。**

- 投写操作画面の を使うこともできます。
- モデレーター機能を使用しているとき、参加者はこの機能を使用できません。

自分のコンピューターの画面が全画面表示で投写されます。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」p.32

モデレーター機能を使用していて、他の出席者が投写映像を操作するとき、モデレーターを交代できます。

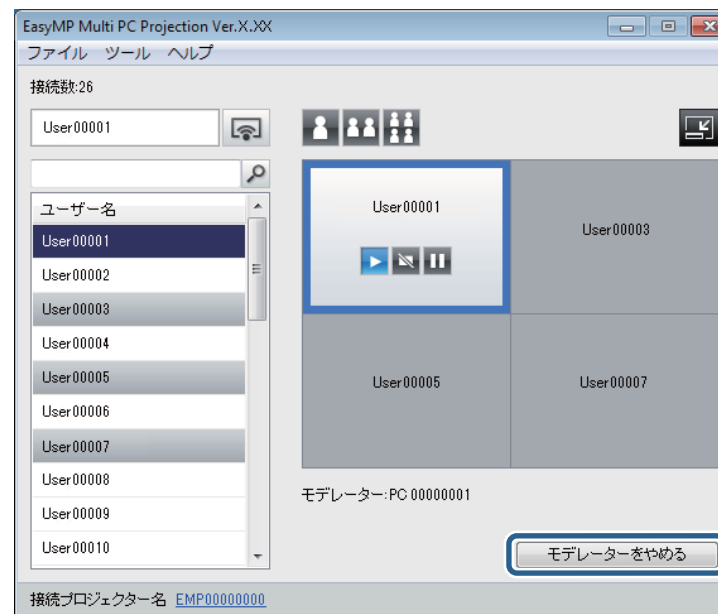
ソフトウェアのバージョンによっては、モデレーター機能は使用できないことがあります。

1 プロジェクター検索画面で、接続するプロジェクターを選択して、[モデレーターとして接続する]を選択してから、[参加]をクリックします。

モデレーター機能が有効になり、ツールバーが表示されます。

2 ツールバーの をクリックします。

投写操作画面が表示されます。

3 モデレーターのコンピューターで、[モデレーターをやめる]ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

4 [OK]をクリックします。

モデレーター機能が無効になります。

5 別の出席者のコンピューターから、投写操作画面の[モデレーターになる]ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

6 **［OK］をクリックします。**

モデレーター機能が再び有効になり、新しいモデレーターが投写映像を操作できます。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」p.32
- 「ミーティングのスタイルに適した接続方法」p.15

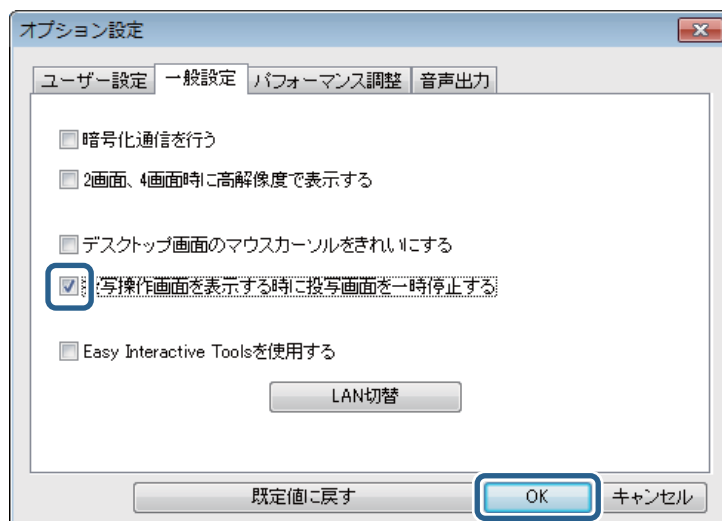
投写操作画面を隠す

自分のコンピューター画面の投写中に、投写操作画面での操作を他の出席者に見えないようにできます。 操作を投写せずに、必要な設定を変更することができます。 ツールバーから投写操作画面に切り替えたときに、表示している投写中の映像を自動的に一時停止します。 ツールバーに戻ると、コンピューターの画面が再び投写されます。

モデレーター機能を使用しているとき、モデレーターのみがこの機能を使用できます。

1 **プロジェクター検索画面で[オプション設定]をクリックします。**
オプション設定画面が表示されます。

2 **[一般設定]タブをクリックします。**

3 **[投写操作画面を表示する時に投写画面を一時停止する]を選択して、 [OK]をクリックします。**

オプション設定画面が閉じます。 次回以降、投写操作画面での操作が投写されなくなります。

関連項目

- 「便利な機能を活用する」p.32

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処法について説明します。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」p.41
- 「投写中のトラブル」p.45
- 「エラーメッセージ一覧」p.47
- 「Event ID一覧」p.51

お使いのネットワーク環境に応じた対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」p.40
- 「接続できない（無線LAN）」p.41
- 「接続できない（有線LAN）」p.43

接続できない(無線LAN)

コンピューターとプロジェクターを無線LANで接続できないときは、次の対処方法を確認してください。 問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認する
    - 無線LANユニットが正しく装着されているか確認します。お使いのプロジェクターによって、対応する無線LANユニットは異なります。
    - アクセスポイントとコンピューターやプロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。 電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。
    - ネットワーク機器の電波強度を最大にしてください。
    - アクセスポイントのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
    - お使いの無線LANが802.11a、802.11b、802.11g、または802.11nに準拠しているか確認します。 802.11a、802.11b、802.11g、または802.11n以外の規格(802.11など)には対応していません。
- プロジェクターのネットワーク設定を確認する
    - [接続モード]を[マニュアルモード]に設定します。
      [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [接続モード]の順に進んで、設定します。
    - プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
      [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [SSID]の順に進んで、設定します。
    - [DHCP]の設定を[オフ]にします。 [DHCP]を[オン]に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
      [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [DHCP]、または[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [IP設定] - [DHCP]の順に進んで、設定します。
    - プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
    - [無線LAN電源]の設定を[オン]にします。
      [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [無線LAN電源]の順に進んで、設定します。
    - 無線LAN方式をアクセスポイントが対応している規格に設定します。
      [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [無線LAN方式]の順に進んで、設定します。
    - セキュリティーの設定をしているときは、プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のパスフレーズを設定します。
    - プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。

- コンピューターのネットワーク設定を確認する
  - コンピューターに無線LANアダプターが内蔵されていないときは、無線LANカードを装着します。
  - 無線LANの設定、またはコンピューターのAirPortの設定を有効にします。
  - プロジェクターが接続しているアクセスポイントに接続します。
  - ファイアウォールを解除します。 または、ファイアウォールを例外に登録します。 ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。 使用するポートは3620、3621、3629です。
- アクセスポイントの設定を確認する
  - MACアドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を、プロジェクターが接続できる設定にします。
- EasyMP Multi PC Projectionの設定を確認する
  - オプション設定画面の[LAN切替]で、使用するネットワークアダプターを選択します。 お使いのコンピューターが複数のLAN環境を持っているときは、使用するネットワークアダプターを正しく選択していないと接続できません。
  - 接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、[指定検索]でIPアドレスを指定して検索します。
  - お使いのEasyMP Multi PC Projectionのバージョンにプロジェクターが対応しているか確認してください。 プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、EasyMP Multi PC Projectionをインストールします。
  - すべてのコンピューターに最新のEasyMP Multi PC Projectionをインストールしてください。 最新のEasyMP Multi PC Projectionをお使いのときでも、プロジェクターの機種によって機能制限があります。接続可能台数が異なったり、モデレーター機能に対応していないことがあります。
  - 複数台のプロジェクターに同じ映像を投写しているとき(ミラーリング時)、はじめに接続したプロジェクターの組み合わせ以外で、投写中のプロジェクターに接続することはできません。はじめに接続したプロジェクターの組み合わせで接続してください。 先に接続したユーザーと同じ組み合わせのプロジェクターを選択するか、待機中のプロジェクターを選択してください。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」p.41
- 「オプション設定 - 一般設定」p.58
- 「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」p.20

接続できない(有線LAN)

コンピューターとプロジェクターを有線LANで接続できないときは、次の対処方法を確認してください。 問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認する
    - LANケーブルを正しく接続します。

- 市販の100BASE-TX、または10BASE-TのLANケーブルを使用します。
- カテゴリー5、またはそれ以上のシールドLANケーブルを使用してください。

- プロジェクターのネットワーク設定を確認する
    - [DHCP]の設定を[オフ]にします。 [DHCP]を[オン]に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
      [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [有線LAN] - [DHCP]、または[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [有線LAN] - [IP設定] - [DHCP]の順に進んで、設定します。
    - プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
    - プロジェクターのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に戻します。
- コンピューターのネットワーク設定を確認する
    - コンピューターのLANの設定を有効にします。
      Windows XPの場合:[コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]で確認できます。
      Windows Vista/Windows 7/Windows 8の場合:[コントロールパネル] - [システムとメンテナンス]または[システムとセキュリティ] - [デバイスマネージャー]で確認できます。
    - ファイアウォールを解除します。 または、ファイアウォールを例外に登録します。 ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。 使用するポートは3620、3621、3629です。

- EasyMP Multi PC Projectionの設定を確認する
    - オプション設定画面の[LAN切替]で、使用するネットワークアダプターを選択します。 お使いのコンピューターが複数のLAN環境を持っているときは、使用するネットワークアダプターを正しく選択していないと接続できません。
    - 接続するプロジェクターが自動で検索されないときは、[指定検索]でIPアドレスを指定して検索します。
    - お使いのEasyMP Multi PC Projectionのバージョンにプロジェクターが対応しているか確認してください。 プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、EasyMP Multi PC Projectionをインストールします。
    - すべてのコンピューターに最新のEasyMP Multi PC Projectionをインストールしてください。 最新のEasyMP Multi PC Projectionをお使いのときでも、プロジェクターの機種によって機能制限があります。接続可能台数が異なったり、モデレーター機能に対応していないことがあります。
    - 複数台のプロジェクターに同じ映像を投写しているとき(ミラーリング時)、はじめに接続したプロジェクターの組み合わせ以外で、投写中のプロジェクターに接続することはできません。はじめに接続したプロジェクターの組み合わせで接続してください。 先に接続したユーザーと同じ組み合わせのプロジェクターを選択するか、待機中のプロジェクターを選択してください。

関連項目

- 「ネットワーク接続に関するトラブル」p.41
- 「オプション設定 - 一般設定」p.58
- 「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」p.20

トラブルの状況に応じた解決策を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」p.40
- 「コンピューターの画面が正しく表示されない」p.45
- 「画面が正しく投写されない」p.45
- 「プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる」p.46

コンピューターの画面が正しく表示されない

コンピューターの画面にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- PowerPointを使用中に、EasyMP Multi PC Projectionを起動すると、スライドショーが動作しなくなることがあります。 EasyMP Multi PC Projectionを起動後、PowerPointを起動してスライドショーを実行してください。

関連項目

- 「投写中のトラブル」p.45

画面が正しく投写されない

画面が投写されない、または投写画面にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- Microsoft Officeのアプリケーションを使用していて投写画面がスムーズに更新されないときは、マウスカーソルを動かさないようにしてください。 マウスを絶えず動かし続けていると、画面がなかなか更新されないことがあります。
- マウスカーソルがちらつくときは、次の対処方法を確認してください。
    - オプション設定画面の[一般設定]タブで、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックを付けます。
    - オプション設定画面の[パフォーマンス調整]タブで、［レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外します。
- コンピューターによっては、Media Playerの動画再生画面が表示されないことがあります。
- コンピューターによっては、スクリーンセーバーのプレビューが正常に表示されないことがあります。
- WEP暗号化を有効にしているときは、表示速度が低下します。
- Mac OS Xの場合、動画再生するときはEasyMP Multi PC Projectionを起動してから再生操作をしてください。 動画再生中にEasyMP Multi PC Projectionを起動したり、表示画面の解像度や色数を変更したときは、動画再生ウィンドウを移動する、または最小化し元に戻す等の操作を行ってください。
- ソフトウェアの動作条件に満たないコンピューターをお使いのときは、動画の映像や音が止まることがあります。
- 他の出席者がモデレーターになっているときは、投写映像を操作できません。 モデレーターを交代するか、モデレーター機能を使わずに画面を投写します。

関連項目

- 「投写中のトラブル」p.45
- 「オプション設定 - 一般設定」p.58
- 「オプション設定 - パフォーマンス調整」p.59
- 「モデレーターを交代する」p.37

プロジェクターから音が出ない、またはノイズが混ざる

プロジェクターから出力される音声にトラブルがあるときは、次の対処方法を確認してください。

- 音声を転送できるプロジェクターは1台のみです。 複数台のプロジェクターに接続しているときは、他のプロジェクターとの接続を切断してください。
- オプション設定画面の[音声出力]タブで、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックを付けます。
- 1台のコンピューターの画面を全画面表示で投写しているときのみプロジェクターから音声を出力します。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが混ざることがあります。 コンピューターの音量は大きく、プロジェクターの音量は小さく設定してください。

関連項目

- 「投写中のトラブル」p.45
- 「オプション設定 - 音声出力」p.59

エラーが発生すると、コンピューターの画面にメッセージが表示されます。 対処方法を確認して、エラーを解除します。

関連項目

- 「困ったときに」p.40
- 「EasyMP Multi PC Projection起動時のエラーメッセージ」p.47
- 「プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ」p.48
- 「投写時のエラーメッセージ」p.49
- 「プロファイル操作時のエラーメッセージ」p.49
- 「モデレーター機能使用時のエラーメッセージ」p.50

EasyMP Multi PC Projection起動時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
このアプリケーションはすでに起動しています。	EasyMP Multi PC Projectionを二重に起動しています。
他のEPSON Projectorソフトウェア(クイックワイヤレス)が起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	クイックワイヤレスを終了してからEasyMP Multi PC Projectionを起動してください。 クイックワイヤレスを終了するには、タスクバーに表示されているアイコンから[ハードウェアの安全な取り外し]を選択し、USBキーを取り外します。
他のEPSON Projectorソフトウェア(USB Display)が起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	USBディスプレイを終了してからEasyMP Multi PC Projectionを起動してください。 次のいずれかの方法で、USBディスプレイを終了します。 • Windowsの場合：プロジェクターからUSBケーブルを取り外します。 • Mac OS Xの場合：メニューバーまたはDockの[USB Display]アイコンから[切断]を選択します。その後にUSBケーブルを取り外します。
他のEPSON Projectorソフトウェア(EasyMP Network Projection)が起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	EasyMP Network Projectionを終了してからEasyMP Multi PC Projectionを起動してください。
EasyMP Multi PC Projectionの初期化に失敗しました。	EasyMP Multi PC Projectionを再起動してください。 それでもメッセージが出るときは、EasyMP Multi PC Projectionをいったんアンインストールして、その後もう一度EasyMP Multi PC Projectionをインストールしてください
ショートカットファイルが開けませんでした。	ショートカットファイルが壊れている可能性があります。 EasyMP Multi PC Projectionを起動し、再度プロジェクターを検索して接続してください。
必要なファイルがないか不正があるためアプリケーションを起動できません。再度インストールしてください。	EasyMP Multi PC Projectionをいったんアンインストールして、その後もう一度EasyMP Multi PC Projectionをインストールしてください

エラーメッセージ	対処法
ネットワークアダプターの情報取得に失敗しました。	次の点を確認します。 • コンピューターにネットワークアダプターが装着されている • コンピューターに、使用するネットワークアダプターのドライバーがインストールされている • ネットワークアダプターが有効になっている 確認後、コンピューターを再起動して、もう一度接続の操作を行います。 それでも接続できないときは、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。
投写中のためショートカット起動できません。	投写をいったん終了して、その後ショートカットから起動してください。 すでにEasyMP Multi PC Projectionを使ってプロジェクターに投写しているときは、ショートカットから起動できません。
オプション画面表示中のためショートカット起動できません。 オプション画面を閉じ、再度ショートカット起動をして下さい。	オプション設定画面が表示されています。 オプション設定画面を閉じてください。
PowerPointを再起動しないと、スライドショーが実行できない場合があります。	PowerPointをいったん終了して、その後もう一度起動してください。
ご使用のOSバージョンでは使用できません。EasyMP Multi PC Projectionをインストールしなおしてください。	EasyMP Multi PC Projectionを再インストールします。

関連項目

• 「エラーメッセージ一覧」p.47
• 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）」p.65
• 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows 8）」p.66
• 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Mac OS X）」p.66
• 「EasyMP Multi PC Projectionをインストールする（Windows）」p.10
• 「EasyMP Multi PC Projectionをインストールする（Mac OS X）」p.10

プロジェクターの検索、選択時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
最大参加数を超えています。 参加できません。	プロジェクターがサポートしている接続最大数のコンピューターやタブレット端末がすでに接続されています。画面を投写しないユーザーとプロジェクターとの接続を切断してください。
キーワードが一致しません。 プロジェクターに表示された、正しいキーワードを入力してください。	LAN待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
キーワードが間違っていたため接続できませんでした。	
選択されたプロジェクターは別のプロジェクターとミラーリング中です。	複数台のプロジェクターに同じ映像を投写しているとき(ミラーリング時)、はじめに接続したプロジェクターの組み合わせ以外で、投写中のプロジェクターに接続することはできません。はじめに接続したプロジェクターの組み合わせで接続してください。

エラーメッセージ	対処法
応答しないプロジェクターが存在します。	複数のプロジェクターに同時に接続できませんでした。コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されているか確認してください。
ネットワークエラーが発生しました。	コンピューターの無線LANスイッチをオンにしてから、再度プロジェクターの検索をしてください。 それでも接続できないときは、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。
プロジェクターとの接続に失敗しました。	接続するプロジェクターがEasyMP Network Projectionで接続されていないか確認してください。 EasyMP Network Projectionで接続しているプロジェクターには接続できません。

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」p.47
- 「対応解像度と表示色」p.67
- 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）」p.65
- 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows 8）」p.66
- 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Mac OS X）」p.66
- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」p.65
- 「EasyMP Multi PC Projectionをインストールする（Windows）」p.10
- 「EasyMP Multi PC Projectionをインストールする（Mac OS X）」p.10

投写時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
プロジェクター側から切断されました。	プロジェクターにエラーが発生している可能性があります。 プロジェクターのインジケーターを確認してください。
ネットワークエラーが発生しました。	再度、接続の操作をします。 それでも接続できないときは、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」p.47

プロファイル操作時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
入力できる文字数は32文字以内です。	入力した文字が32文字を超えています。 32文字以下の名称に変更してください。
フォルダー名を入力してください。	フォルダー名が入力されていません。フォルダー名を入力してください。
フォルダー階層は6階層以内です。	フォルダーが6階層を超えています。より上位のフォルダーに新規フォルダーを作成してください。
このフォルダーには既にXXXフォルダーが存在します。	同じ名前のフォルダーが存在しています。 別の名前を指定してください。

エラーメッセージ	対処法
このフォルダーには既にXXXプロジェクターファイルが存在します。	同じ名前のプロジェクターが存在しています。 別の名前を指定してください。
アプリケーションで利用できないフォーマットのため、 インポートできませんでした。	インポートするプロファイルを確認してください。 EasyMP Network Projectionでエクスポートしたプロファイルで、かんたんモードで接続したプロジェクターが含まれるプロファイルはインポートできません。 また、プロジェクター情報が登録されていないときやプロファイルが壊れているときもインポートできません。
フォルダー階層が6階層を超えるためインポートできません。	フォルダーのインポート、移動、コピーをすると、フォルダーが6階層を超えます。 より上位のフォルダーにインポート、移動、コピーしてください。
フォルダー階層が6階層を超えるため移動できません。	
フォルダー階層が6階層を超えるためコピーできません。	
ファイルを開くことができません。	プロファイルが壊れている可能性があります。 再度、プロファイルをインポートしてください。
ファイルに保存できません。	保存先のフォルダーにアクセス権があることを確認して、再度プロファイルを保存してください。

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」p.47

モデレーター機能使用時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
モデレーターになることができませんでした。	他の出席者がモデレーターになっているときは、モデレーターになれません。 モデレーターを交代してください。
モデレーターモードへの切り替えに失敗しました。	他の出席者がモデレーターになっていないことを確認して、再度、操作してください。
モデレーター機能を使用することはできません。 参加者として接続しました。	接続しているプロジェクターはモデレーター機能に対応していません。 モデレーター機能を使用するには、この機能に対応しているプロジェクターに接続します。

関連項目

- 「エラーメッセージ一覧」p.47
- 「モデレーターを交代する」p.37

接続に関するトラブルが生じると、トラブルの内容を示す番号が次のように表示されます。

Event ID: 04xx

番号を確認して次のとおり対処してください。 問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、プロジェクターの『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	要因	対処法
0432	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0435		
0434	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0481		
0482		
0433	転送された画像を再生できません。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、 プロジェクターを再起動してください。
04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。また、LANケーブルが確実に接続されているか確認してください。 DHCPを使用しないときは、[DHCP]の設定を[オフ]にしてください。
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネットワークソフトウェアを再起動しても問題が解決しないときは、プロジェクターの『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。
089A	EAP認証方式が不一致です。	無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。 また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました	
089D	鍵交換が失敗しました。	
0B01	内蔵ストレージが正常に検出されませんでした。	[内部ストレージを全て削除]を実行してください。 正常に終了した場合は、プロジェクターのコンセントを差し直して起動してください。 正常に終了しない場合は、プロジェクターの『取扱説明書』に記載の連絡先にお問い合わせください。 [拡張設定] - [ホワイトボード設定画面へ] - [内部ストレージ]の順に進んで、設定します。
0BFF	ホワイトボード機能にエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。

関連項目

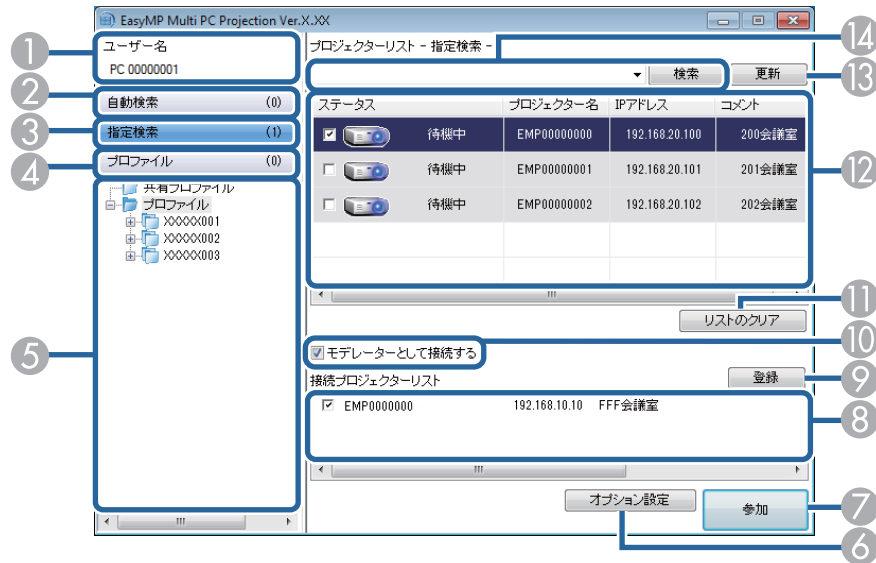
- 「困ったときに」p.40

各画面の説明

EasyMP Multi PC Projectionの各画面の項目を説明します。

関連項目

- 「プロジェクター検索画面」p.54
- 「保存画面」p.56
- 「オプション設定」p.57
- 「ツールバー」p.61
- 「投写操作画面」p.62

EasyMP Multi PC Projectionを起動すると、検索画面が表示されます。

❶	ユーザー名	投写操作画面のユーザーリストに表示するユーザー名が表示されます。 ユーザー名は、オプション設定画面の[ユーザー設定]タブで設定できます。
❷	自動検索	コンピューターが接続しているネットワーク上のプロジェクターを検索します。
❸	指定検索	プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を指定してネットワーク上のプロジェクターを検索します。
❹	プロファイル	事前に保存したプロジェクター情報を使ってネットワーク上のプロジェクターを検索します。
❺	プロファイルリスト	登録されているプロファイル(プロジェクター情報)が表示されます。 プロファイルをダブルクリックすると、プロファイルに登録されているネットワーク上のプロジェクターを検索します。
❻	オプション設定	オプション設定画面を表示します。
❼	参加	選択したプロジェクターと接続します。

❽	接続プロジェクターリスト		[プロジェクターリスト]で選択したプロジェクターが表示されます。 検索方法を切り替えても、[接続プロジェクターリスト]の内容は保持されます。
❾	登録		[接続プロジェクターリスト]のプロジェクターをプロファイルに登録します。
❿	モデレーターとして接続する		プロジェクターリストで選択したプロジェクターにモデレーターとして接続します。(対応機種のみ) ソフトウェアのバージョンによっては、モデレーター機能は使用できないことがあります。
⓫	リストのクリア		[プロジェクターリスト]、[接続プロジェクターリスト]に表示されている情報を削除します。
⓬	プロジェクターリスト		ネットワーク上で見つかったプロジェクターが表示されます。 接続するプロジェクターを選択します。各検索方法([自動検索]/[指定検索]/[プロファイル])での検索結果はそれぞれ別のリストで表示されます。
		ステータス	プロジェクターの状態を示します。アイコンについての詳細は下記の表をご覧ください。
		プロジェクター名	プロジェクターの名前が表示されます。
		IPアドレス	プロジェクターのIPアドレスが表示されます。
		コメント	プロジェクターの補足情報が表示されます。 補足情報を編集するときは、プロファイルを右クリックして[プロパティー]をクリックします。 最大32文字まで入力できます。
⓭	更新		[プロジェクターリスト]の情報を最新に更新します。

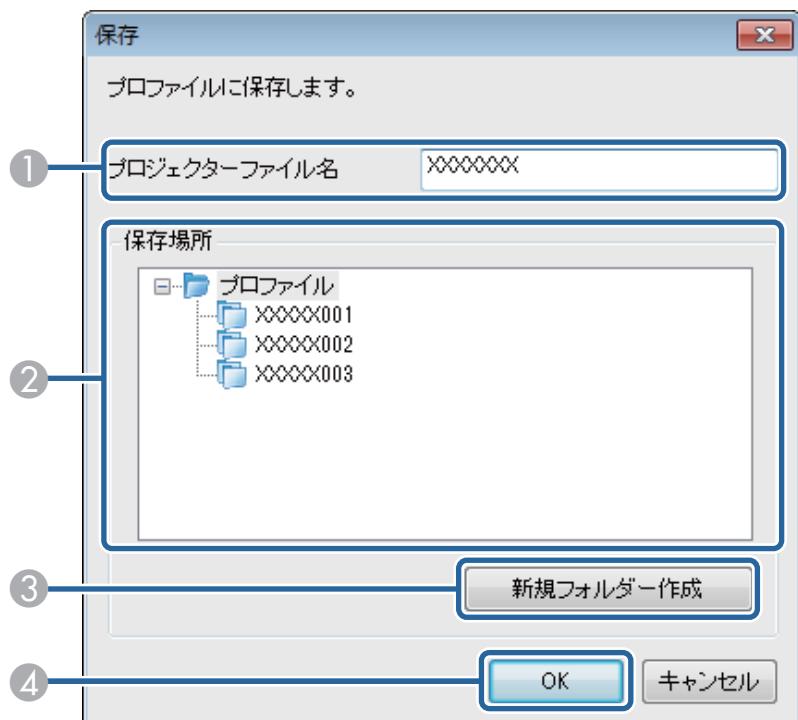
⑭	指定検索ボックス	[指定検索]のときに、プロジェクターのIPアドレスまたはプロジェクター名を入力します。 [検索]ボタンをクリックして、指定したプロジェクターを検索します。

[プロジェクターリスト]でプロジェクターの状態を示すアイコンの詳細は、次のとおりです。

待機中	選択できます。 プロジェクターに接続できます。
使用中	選択できます。 他のコンピューターがプロジェクターに接続していますが、同時に接続できます。
ミラーリング中	選択できます。 同じ映像を投写しているプロジェクター(ミラーリング中)のグループに接続できます。
他アプリ使用中	選択できません。 プロジェクターでネットワーク設定メニューを表示中です。または、他のプロジェクターソフトウェアが、このプロジェクターを使用しています。
検索中	選択できません。 [指定検索]や[プロファイル]検索でプロジェクターを検索中です。
見つかりません	選択できません。 [指定検索]や[プロファイル]検索で指定したプロジェクターが見つかりません。
非対応プロジェクター	選択できません。 プロジェクターがEasyMP Multi PC Projectionに対応していません。

関連項目

- 「各画面の説明」p.53
- 「自動で検索する」p.19
- 「IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する」p.20
- 「プロファイルを使って検索する」p.21
- 「ショートカットを使って検索する」p.33
- 「オプション設定」p.57

プロジェクター検索画面でプロジェクターを検索しプロファイルとして保存するとき、保存画面が表示されます。

❶	プロジェクターファイル名	プロジェクターファイル名を入力してください。
❷	保存場所	プロファイルの保存場所を選択します。
❸	新規フォルダー作成	新しいフォルダーを作成します。
❹	OK	プロジェクター情報をプロファイルに登録します。

関連項目

- 「各画面の説明」p.53
- 「プロファイルを登録する」p.22

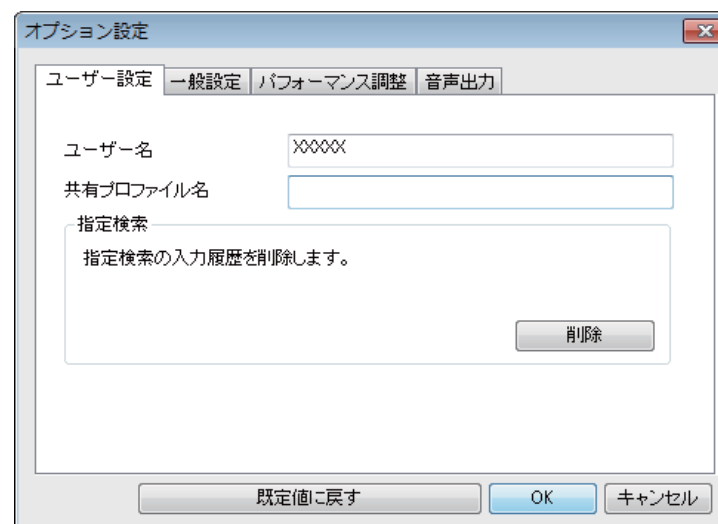
EasyMP Multi PC Projectionのプロジェクター検索画面で[オプション設定]をクリックすると、オプション設定画面が表示されます。

投写操作画面の[ツール]メニューからもオプション設定画面を表示できます。 投写操作画面からオプション設定画面を表示したときは、[ユーザー設定]タブは表示されません。

関連項目

- 「各画面の説明」p.53
- 「オプション設定 - ユーザー設定」p.57
- 「オプション設定 - 一般設定」p.58
- 「オプション設定 - パフォーマンス調整」p.59
- 「オプション設定 - 音声出力」p.59
- 「プロジェクター検索画面」p.54
- 「ツールバー」p.61

オプション設定 - ユーザー設定

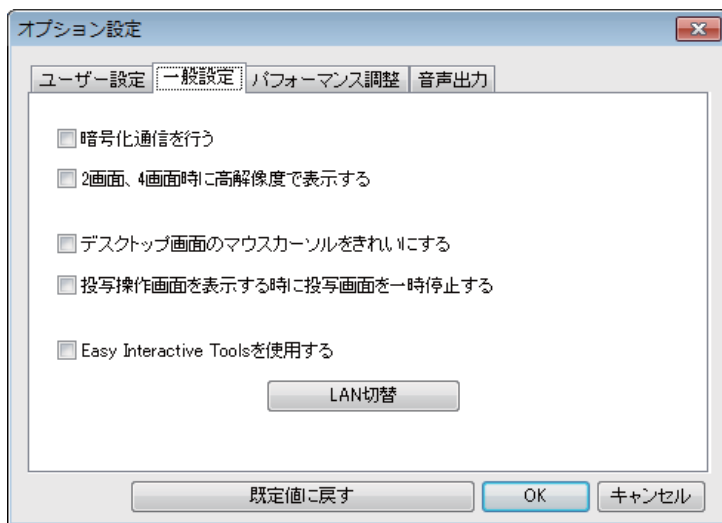
オプション設定画面で[ユーザー設定]タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

ユーザー名	投写操作画面のユーザーリストに表示するユーザー名を入力してください。 最大32文字まで入力できます。 この設定は、プロジェクター検索画面のユーザー名と同期します。
共有プロファイル名	共有プロファイルを保存したネットワーク上の場所またはURL(プロファイル名を含める)を入力します。 • ファイルサーバーの場合(Windowsのみ): \\xxxxx\xxxxx.mplist • Webサーバーの場合: http://xxxxx/xxxxx.mplist
削除	[指定検索]の入力履歴を削除します。
既定値に戻す	[一般設定]の[LAN切替]を除く、[オプション設定]のすべての設定を初期化します。

関連項目

- 「オプション設定」p.57
- 「プロジェクター検索画面」p.54
- 「投写操作画面」p.62

- 「自動で検索する」p.19
- 「ネットワーク経由でプロファイルを共有する」p.24

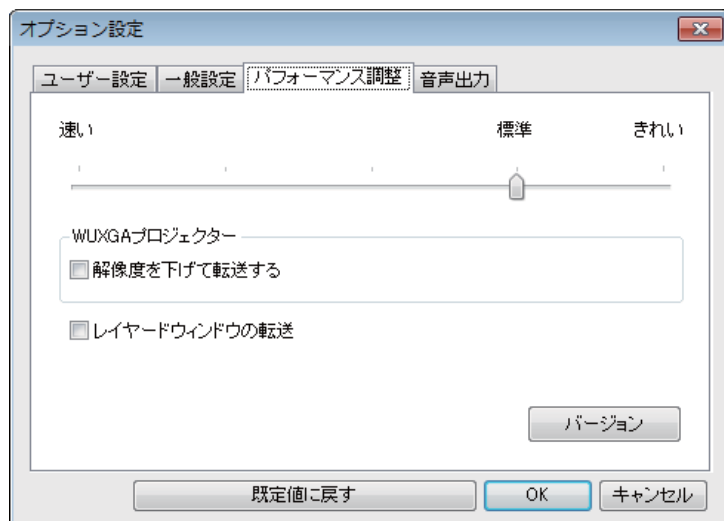
オプション設定 - 一般設定

オプション設定画面で[一般設定]タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

暗号化通信を行う	チェックを付けるとデータを暗号化して送信します。 データを傍受されても、解読されません。
2画面、4画面時に高解像度で表示する	解像度がWUXGA(1920×1200)のプロジェクターのみ 投写画面を分割したときに、各画面を高解像度で表示します。 投写映像の表示が遅れたり途切れたりするときは、チェックを外します。
デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする	Windows XP/Windows Vista/Windows 7のみ [パフォーマンス調整]の[レイヤードウィンドウの転送]にチェックを付けて投写するときに、マウスカーソルのちらつきを防ぎます。(Windows VistaとWindows 7でウィンドウデザインをWindows Aeroに指定しているとき、この項目を選択するとWindows Aeroが無効になります。)
投写操作画面を表示する時に投写画面を一時停止する	モデレーター機能を使用しているとき、モデレーターのみがこの機能を使用できます。 自分のコンピューター画面の投写中に、投写操作画面での操作を他の出席者に見せたくないときにチェックを付けます。
Easy Interactive Toolsを使用する	Easy Interactive ToolsをEasyMP Multi PC Projectionと同時に使用するときにチェックを付けます。 この設定は、[パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィンドウの転送]と同期します。
LAN切替	Windowsのみ 複数のネットワークアダプターを搭載したコンピューターをお使いのとき、使用するネットワークアダプターを選択します。 初期設定ではすべてのネットワークアダプターを使用して検索します。
既定値に戻す	[一般設定]の[LAN切替]を除く、[オプション設定]のすべての設定を初期化します。

関連項目

- 「オプション設定」p.57
- 「投写画面の分割数を切り替える」p.27
- 「投写操作画面を隠す」p.39

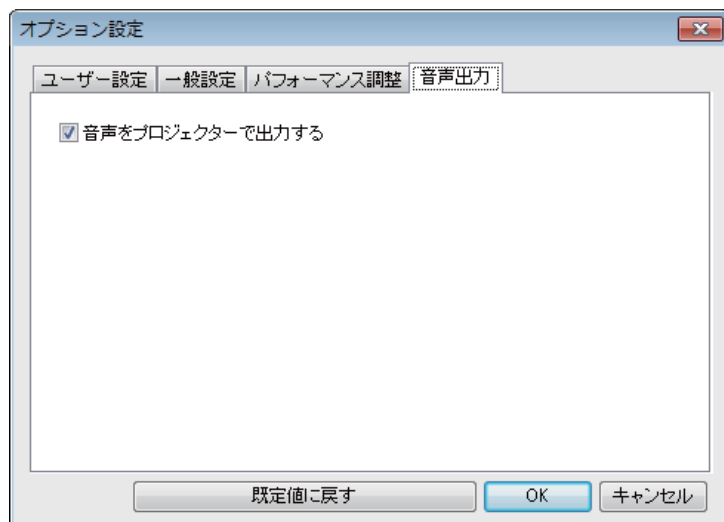
オプション設定 - パフォーマンス調整

オプション設定画面で[パフォーマンス調整]タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

調整用スライドバー	[速い]、[標準]、[きれい]でパフォーマンスを調整できます。 動画の投写映像が途切れるようなときは、[速い]側へ設定してください。
解像度を下げて転送する	解像度がWUXGA(1920×1200)のプロジェクターのみ チェックを付けると投写対象の画面の解像度を下げて、プロジェクターに転送するデータを小さくします。 ネットワークが遅いときや投写映像の表示が遅れたり途切れたりするときに使用します。
レイヤードウィンドウの転送	Windows XP、Windows 7 (ウィンドウデザインを[Windows 7 ベーシック]に設定時)のみ レイヤードウィンドウを使用すると、コンピューター画面に表示されているメッセージなどはプロジェクターで投写されません。 異なるレイヤーのウィンドウの内容を投写するときに、チェックを付けてください。 コンピューターの画面上でマウスカーソルのちらつきが気になるときは、[一般設定]の[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックを付けます。
バージョン	EasyMP Multi PC Projectionのバージョン情報を表示します。
既定値に戻す	[一般設定]の[LAN切替]を除く、[オプション設定]のすべての設定を初期化します。

関連項目

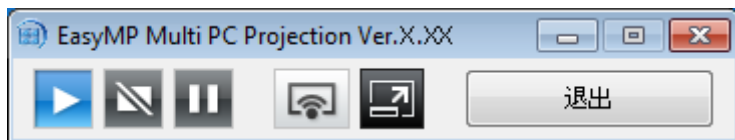
- 「オプション設定」p.57
- 「投写画面の分割数を切り替える」p.27
- 「自分の画面を投写する」p.36

オプション設定 - 音声出力

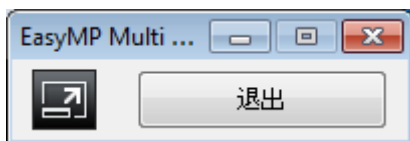
オプション設定画面で[音声出力]タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

音声をプロジェクターで出力する	コンピューターの音声を転送してプロジェクターで出力するときに、チェックを付けます。チェックを外すと、音声はコンピューターから出力されます。 1台のコンピューターの画面を全画面表示で投写しているときのみプロジェクターから音声を出力します。
既定値に戻す	[一般設定]の[LAN切替]を除く、[オプション設定]のすべての設定を初期化します。

関連項目

- 「オプション設定」p.57
- 「プロジェクターから音声を出力する」p.35

EasyMP Multi PC Projectionを起動してプロジェクターと接続すると、コンピューターの画面にツールバーが表示されます。 このツールバーを使って、投写中の映像を操作したり、ネットワーク接続を切断したりできます。

モデレーター機能を使用するときは、モデレーターとして接続したときと参加者として接続したときで、表示されるツールバーが異なります。

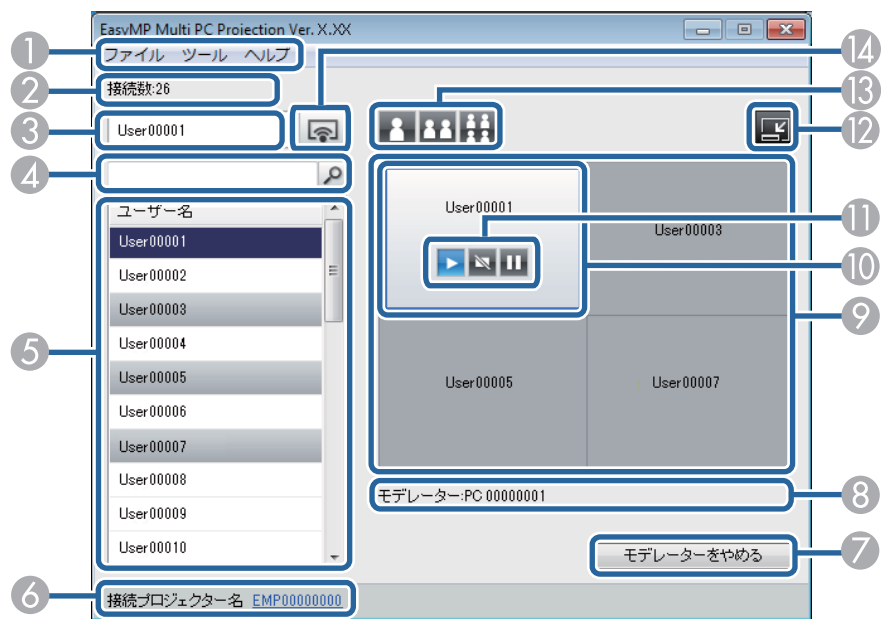
- モデレーター

- 参加者

ソフトウェアのバージョンによっては、表示される項目が異なることがあります。

表示	[停止]や[一時停止]を解除し、コンピューターの画面を投写します。
停止	プロジェクターと接続したまま投写を停止します。 停止中は、黒い画面が投写されます。
一時停止	プロジェクターと接続したまま、投写中の映像の動きを一時的に停止します。
自分の画面を投写	他の参加者の画面は投写せず、自分のコンピューターの画面を全画面表示で投写します。
退出	コンピューターとプロジェクターとの接続を切断します。
全ユーザーの切断	ミーティングに参加しているすべてのコンピューターやタブレット端末とプロジェクターとの接続を切断します。
投写操作画面に切り替え	投写操作画面に切り替えます。

関連項目

- 「各画面の説明」p.53
- 「投写映像を操作する」p.26
- 「自分の画面を投写する」p.36
- 「プロジェクターとの接続を終了する」p.30
- 「投写操作画面」p.62

ツールバーの をクリックすると、投写操作画面が表示されます。

ソフトウェアのバージョンによっては、投写操作画面を使用できないことがあります。

❶	ファイルメニュー	[終了]を選択すると、ソフトウェアが終了します。
	ツールメニュー	[退出]または[全ユーザーの切断]を選択します。[オプション設定]を選択して、オプション設定画面を表示します。
	ヘルプメニュー	[バージョン情報]を選択します。
❷	接続数	プロジェクターに接続しているユーザーの数を表示します。
❸	ユーザー情報	ユーザー名と投写状態を表示します。 自分のコンピューターの画面が投写中の場合は、青色で表示されます。投写エリア内のパネルにドラッグ＆ドロップされていて、投写されていない場合は、灰色で表示されます。
❹	ユーザー検索ボックス	検索するユーザー名を入力して、 をクリックします。 検索結果がユーザーリストに表示されます。 元のユーザーリストに戻すときは、 をクリックします。
❺	ユーザーリスト	プロジェクターに接続しているコンピューターのユーザー名が表示されます。 最大50台のコンピューターやタブレット端末をプロジェクターに接続できます。 ユーザー名を投写エリア内の白色のパネルにドラッグ＆ドロップすると、コンピューターの画面が投写されます。 ユーザーリスト内で、投写中のユーザー名の背景色は、青色で表示されます。投写エリア内のパネルにドラッグ＆ドロップされていて、投写されていないユーザー名の背景色は、灰色で表示されます。 ユーザーが会議を退出しても、ユーザー名はユーザーリスト内に残り、文字色が灰色になります。 初期設定ではユーザー名はコンピューター名が表示されます。オプション設定画面の[ユーザー設定]タブ、または検索画面でユーザー名を変更できます。
❻	接続プロジェクター名	現在接続しているプロジェクター名を表示します。 接続プロジェクター名をクリックすると、Web Remoteが表示されます。Web Remoteでは、コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。 Web Remoteについて詳しくは、プロジェクターに同梱の『取扱説明書』をご覧ください。

❼	モデレーターをやめる/モデレーターになる	モデレーターをやめるときは[モデレーターをやめる]ボタン、モデレーターになるときは[モデレーターになる]ボタンをクリックします。 表示されるボタンは、接続方法によって異なります。
❽	モデレーター	モデレーターがいるときは、モデレーター名を表示します。
❾	投写エリア	白色のパネルにドラッグ＆ドロップしたユーザーの画面が投写されます。 白色のパネルにユーザーがいないときは、黒い画面が投写されます。ユーザー名をドラッグ＆ドロップすることで、投写するコンピューターの画面や、画面の投写位置を切り替えることができます。
❿	操作対象パネル	投写エリア内のいずれかのパネルをクリックして、青色の枠で囲まれたパネルが操作対象になります。 投写切り替えボタンをクリックして、操作対象パネルにドラッグ＆ドロップされているユーザーのコンピューター画面を投写します。
⓫	画面操作ボタン	プロジェクターの状態をお知らせします。 表示：[停止]や[一時停止]を解除し、コンピューターの画面を投写します。 停止：投写を停止します。 停止中は黒い画面が投写されます。 一時停止：投写中のコンピューターの画面を静止します。 コンピューターの画面を操作しても、投写映像は静止したままになります。
⓬	ツールバーに切り替え	投写操作画面をツールバーに切り替えます。
⓭	投写切り替えボタン	コンピューターの画面を投写するパネルの数を切り替えます。 1画面投写：投写画面を分割せず、1台のコンピューターまたはタブレット端末の画面を全画面表示で投写します。 2画面投写：投写画面を2分割して、最大2台のコンピューターやタブレット端末の画面を同時に投写します。 4画面投写：投写画面を4分割して、最大4台のコンピューターやタブレット端末の画面を同時に投写します。
⓮	自分の画面を投写	自分のコンピューターの画面を全画面表示で投写します。

関連項目

- 「各画面の説明」p.53
- 「投写する映像を操作する」p.26
- 「プロジェクターとの接続を終了する」p.30
- 「自分の画面を投写する」p.36
- 「プロジェクター検索画面」p.54
- 「オプション設定 - ユーザー設定」p.57
- 「モデレーターを交代する」p.37
- 「ツールバー」p.61
- 「投写操作画面を隠す」p.39

付録

EasyMP Multi PC Projectionのアンインストール方法、制限事項などを説明します。

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」p.65
- 「対応解像度と表示色」p.67
- 「制限事項」p.68
- 「一般のご注意」p.70

EasyMP Multi PC Projectionの更新、またはアンインストールは次の方法で行えます。

関連項目

- 「付録」p.64
- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」p.65
- 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）」p.65
- 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows 8）」p.66
- 「EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Mac OS X）」p.66

ソフトウェアの最新バージョンを入手する

EasyMP Multi PC Projectionの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

http://www.epson.jp/download/ にアクセスしてください。

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」p.65

EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする（Windows XP/Windows Vista/Windows 7）

次の方法で EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールします。

ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要です。

1 **コンピューターの電源を入れます。**

2 **起動中のアプリケーションをすべて終了します。**

3 **［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。**

4 **次のいずれかの操作を行います。**

- Windows XPの場合：［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。
- Windows Vista/Windows 7の場合：［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックします。

5 **［EasyMP Multi PC Projection］を選択して、次のいずれかの操作を行います。**

- Windows XPの場合：［削除］をクリックします。
- Windows Vista/Windows 7の場合：［アンインストール］をクリックします。

6 **画面の指示に従って、アンインストールを進めます。**

関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」p.65

EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする(Windows 8)

次の方法で EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールします。

ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要です。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
3. チャームバーで[検索]を選択して、[EasyMP Multi PC Projection]を検索します。
4. [EasyMP Multi PC Projection Ver.X.XX]を右クリック(長押し)して、アプリバーから[アンインストール]を選択します。
5. [EasyMP Multi PC Projection]を選択して、[アンインストール]を選択します。
6. 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

関連項目

• 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」p.65

EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールする(Mac OS X)

次の方法で EasyMP Multi PC Projectionをアンインストールします。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
3. [アプリケーション]フォルダーを開きます。
4. [EasyMP Multi PC Projection] - [Tools]フォルダーを開き、[EasyMP Multi PC Projection Uninstaller.app]をダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

関連項目

• 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」p.65

投写可能なコンピューターの画面解像と画面の色数は、次のとおりです。

関連項目

- 「付録」p.64
- 「対応解像度」p.67
- 「表示色」p.67

対応解像度

投写可能なコンピューターの画面解像度は、次のとおりです。 WUXGA を超える解像度のコンピューターとは接続できません。

- VGA (640 × 480)
- SVGA (800 × 600)
- XGA (1024 × 768)
- SXGA (1280 × 960)
- SXGA (1280 × 1024)
- SXGA+ (1400 × 1050)
- WXGA (1280 × 768)
- WXGA (1280 × 800)
- WXGA+ (1440 × 900)
- UXGA (1600 × 1200)
- WUXGA (1920 × 1200)

縦横比が特殊な画面のコンピューターの場合は、コンピューターおよびプロジェクターの画素数に応じて、画像の品質をなるべく損なわないように調整された解像度に拡大・縮小されて投写されます。

このとき、解像度によっては縦方向または横方向の余白部分が黒く投写される場合があります。

関連項目

- 「対応解像度と表示色」p.67

表示色

投写可能なコンピューターの画面の色数は、次のとおりです。

Windows	Mac OS X
16ビットカラー	約32000色(16ビット)
32ビットカラー	約1670万色(32ビット)

関連項目

- 「対応解像度と表示色」p.67

EasyMP Multi PC Projectionを起動してコンピューターの映像を投写するときは、次の制限事項があります。ご確認ください。

関連項目

- 「付録」p.64
- 「使用時の制限」p.68
- 「WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限」p.68
- 「Windows Aeroの制限」p.69
- 「Windows Media Center投写時の制限」p.69

使用時の制限

EasyMP Multi PC Projectionの使用時には、次の制限があります。

- 1台のコンピューターから、最大4台のプロジェクターに接続して同時に映像を投写できます。（マルチスクリーンには対応していません。）
- 1台のプロジェクターに、EasyMP Multi PC Projectionを使用するコンピューターとEpson iProjectionを使用するスマートフォンやタブレット端末をあわせて50台まで接続できます。（出席者の一部がEasyMP Multi PC Projectionの古いバージョンを使っているときは、最大接続台数が16または32台になり、またEpson iProjectionを使用するタブレット端末は同時に接続できません。
- 音声を転送できるのは1台のプロジェクターと接続して1つの画面を全画面表示で投写しているときのみです。 複数台のプロジェクターに接続しているとき、または画面を分割して投写しているときは音声を転送できません。
- 無線LANの通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態となり、予期しないときに切断されることがあります。
- DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。（Windowsのみ）
- MS-DOSプロンプトの全画面表示は投写できません。（Windowsのみ）
- コンピューター上の画面とプロジェクターが投写する画像は完全に一致しないことがあります。
- 動画を再生する場合、コンピューター上で再生した場合と比べて、スムーズに再生されません。

関連項目

- 「制限事項」p.68

WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリー投写時の制限

EasyMP Multi PC Projectionを起動中にWindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを起動すると、次の制限があります。

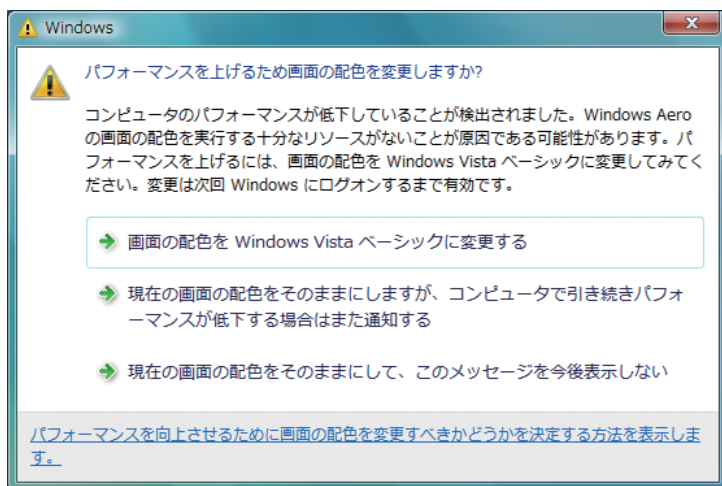
- WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーでスライドショーを行うと、シンプルモードで再生されます。
  ツールバーが表示されませんので、Windowsエクスペリエンスインデックスのスコアに関わらず、再生中にテーマ(効果)の変更はできません。
  いったんシンプルモードになると、EasyMP Multi PC Projectionを終了してもWindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを継続している間はモード変更できません。 WindowsフォトギャラリーまたはLiveフォトギャラリーを再起動してください。
- 動画再生ができません。

関連項目

- 「制限事項」p.68

Windows Aeroの制限

お使いのコンピューターのウィンドウデザインがWindows Aeroのときは、次の制限があります。

- EasyMP Multi PC Projectionのオプション設定画面の[レイヤードウィンドウの転送]に関わらずレイヤードウィンドウが投写されます。
- EasyMP Multi PC Projectionでコンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してから何分かすると、以下のメッセージウィンドウが表示されることがあります。

[現在の画面の配色をそのままにして、このメッセージを今後表示しない]を選択することをお勧めします。 この選択はコンピューターを再起動するまで有効です。

関連項目

- 「制限事項」p.68

Windows Media Center投写時の制限

Windows Media Center投写時には、次の制限があります。

- Windows Media Centerの映像は、全画面表示した状態で投写できません。 Window表示の状態にすると投写できます。
- EasyMP Multi PC Projectionでコンピューターの音声をプロジェクターに転送して再生中に音声が出なくなったときは、使用しているアプリケーションを一度終了してから、再度実行してください。

関連項目

- 「制限事項」p.68

次の点にご留意ください。

関連項目

- 「付録」p.64
- 「ご注意」p.70
- 「表記について」p.70
- 「商標について」p.70

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

関連項目

- 「一般のご注意」p.70

表記について

- Microsoft® Windows® XP Professional operating system
- Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
- Microsoft® Windows Vista® operating system
- Microsoft® Windows® 7 operating system
- Microsoft® Windows® 8 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「WindowsXP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」と表記しています。 また、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

- Mac OS X 10.4.x
- Mac OS X 10.5.x
- Mac OS X 10.6.x
- Mac OS X 10.7.x
- Mac OS X 10.8.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「Mac OS X 10.7.x」、「Mac OS X 10.8.x」と表記しています。 またこれらを総称する場合は「Mac OS X」と表記します。

関連項目

- 「一般のご注意」p.70

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、Mac OS、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、PowerPoint、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

関連項目

• 「一般のご注意」p.70